

Dahua アプリかんたん手順(3)

SmartPSS操作手順書

(1.09版)



2023年10月27日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

文書番号: MDI-it-MAN-065

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2017/09/05	新規			新規作成
1.01	2018/10/02	変更	3	1	SmartPSS のダウンロード方法を更新
1.02	2019/01/25	変更	19	3.4	ライブビューのストリーム切替を追加
			25	3.7	ライブビューのグループ設定を追加
			28	3.8	便利な機能(デバイス自動ログイン、デバイス情報のインポート)を追加
1.03	2019/05/28	追加	18	3.4.2	音声出力の手順を追加
1.04	2019/07/01	追加	29	3.8	ツアー設定
			33	3.9	ビュー設定
			34	3.10	E-Map 設定
		修正	41	3.13	「便利機能」を 4 章に変更
1.05	2019/08/02	変更	全頁		セキュリティ強化対応
1.06	2019/12/26	追記	16	3.3.3	P2P のシリアル番号入力の大文字指定
1.07	2020/04/23	追記	18	3.4.2	IP カメラ接続 DVR の注意事項追加
			21	3.5.2	
			26	3.6.2	
			27	3.6.2	エンコード変更注意事項追加
1.08	2020/07/31	全変更	全頁		バージョン 2.003.0000001.0 対応
1.09	2023/10/27	変更	1-2		新会社 情報更新

— 目次 —

1. 本手順書について	3
2. インストール／アンインストール	3
2.1. 環境	3
2.2. Windows 版	4
2.3. MacOS 版	8
3. 操作手順	11
3.1. 新規画面簡易説明	11
3.2. SmartPSS 起動	13
3.3. デバイス登録	15
3.4. ライブ映像表示	19
3.5. 録画再生	22
3.6. エンコード設定	27
3.7. デバイスグループ設定	29
3.8. ツアー設定	30
3.9. ビュー設定	34
3.10. E-Map 設定	35
4. 設定移行	42
4.1. バージョン 2.001 からの設定バックアップ	42
4.2. バージョン 2.001 からの設定リストア	43
5. 便利機能	46
5.1. デバイス自動ログイン	46
5.2. デバイス情報バックアップ	47
5.3. デバイスへの時刻設定	49

1. 本手順書について

- 本手順書は Dahua 社のアプリケーションを簡単に使用して頂くための手順書です。
- 本手順書のアプリケーションは「SmartPSS」のアプリケーションに絞っております。
- P2P ならびに DDNS の設定に関しましては、カメラならびにレコーダの手順書を参照してください。

2. インストール／アンインストール

- SmartPSS(スマートプロフェッショナル監視システム)のインストールの手順を以下に明記します。
- MacOS 版の SmartPSS は英語のみとなっております。日本語は対応しておりません。
- Dahua ホームページの Windows 版の SmartPSS は日本語対応していない場合がありますので、ご注意ください。

2.1. 環境

2.1.1. 動作環境

項目	スペック
OS	Windows 10 以上、Mac OS X 10.7 以降
CPU	Intel Core i7 以上
ビデオカード	Intel HD Graphics 以上
メモリ	8GB 以上
解像度	1920x1080 以上

2.1.2. ダウンロード

SmartPSS は弊社ならびに Dahua 社のホームページからダウンロードすることが可能です。

○弊社ホームページ(Windows 版のみ)

URL: <https://www.mitsuboshidiamond.com/it/docsearch/>

「機能」から、「ダウンロード--ソフトウェア」を選択し、「検索」をクリックして下さい。
ドキュメント名の「SmartPSS International」をクリックするとダウンロードが開始されます。

○Dahua ホームページ

URL: <https://www.dahuasecurity.com/>

Windows 版

「SUPPORT」-「Download Center」-「Software」の「SmartPSS」をクリックします。
表示された一覧から、“○○_SmartPSS_Win○○○○”をクリックしダウンロードしてください。

MacOS 版

Windows 版と同じ場所の“○○_SmartPss_Mac○○○○”)をクリックしダウンロードしてください。

2.2. Windows 版

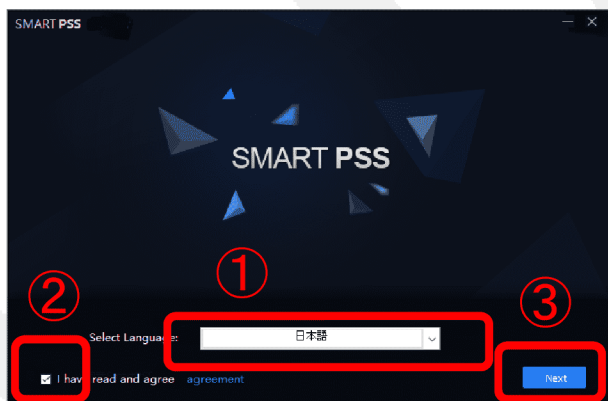
本手順書では SmartPSS のバージョン V2.003.0000001.0 の手順を表記しています。インストールされるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

2.2.1. インストール

解凍した exe ファイル”〇〇_SmartPSS_〇〇.exe”をダブルクリックしてください。

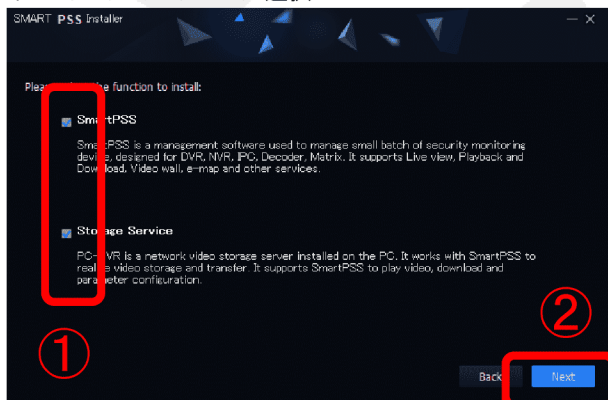
※解凍後の exe ファイルはバージョンによって exe ファイル名が異なります。

1) SmartPSS のインストールの開始



- ①[Select Language]のプルダウンから日本語を選択します。
- ②[I have read and agree]にチェックを入れます。
- ③『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

2) インストールのモジュール選択



- ①チェック項目からインストールするモジュールを選択します。

SmartPSS	IPC、NVR、DVR の監視システム。IPC やレコーダのライブ映像、録画再生などが使用できます。
Storage Service	PC 上で使用する仮想 NVR レコーダです (PC-NVR)。IPC などの録画ができます。 ※保存領域が小さいです。長時間の録画はお勧めできません。

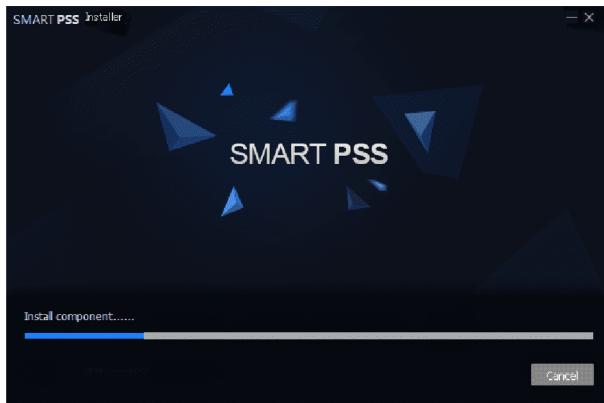
- ②『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) インストール先とショートカットの作成の設定



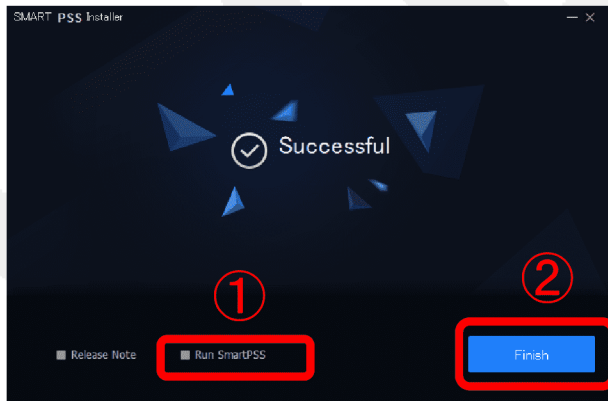
- ①SmartPSS のインストール先を変更する場合は、『Browse』をクリックして保存先を変更してください。
- ②Windows の画面に SmartPSS のショートカットを作成する場合は、チェックを入れてください。
- ③『Next』をクリックすると、インストール画面に移行しインストールが開始します。

4) インストールの進捗状態の画面



※SmartPSS のインストール先を中止する場合は、『Cancel』をクリックしてください。

5) インストールの終了画

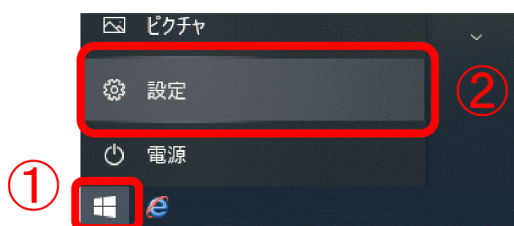


- ①インストール終了後に SmartPSS を起動する場合は、[Run SmartPSS]にチェックを入れてください。『Finish』をクリック後に自動的に起動します。
- ②『Finish』をクリックでインストールは終了です。

2.2.2. アンインストール

1) SmartPSS のアンインストーラーの起動

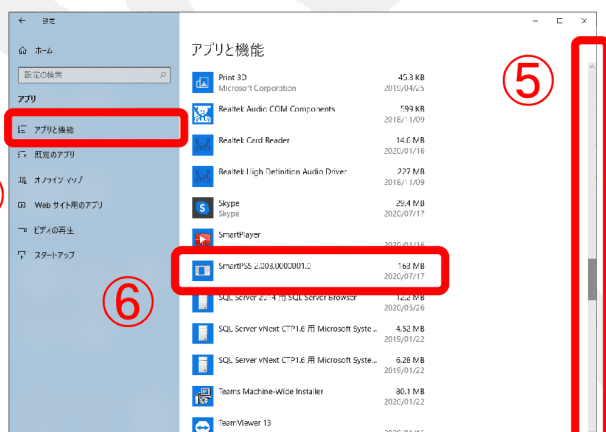
※アプリケーション起動中はアンインストールの実行はできません。アンインストール実行前に SmartPSS または PC-NVR (Storage Service)を終了させてください。



- ① スタートをクリックします。
- ② 左のスタート項目から『設定』をクリックし、設定画面を表示させます。



- ③ 設定画面の一覧から、『アプリ』をクリックし、アプリ画面を表示させます。



- ④ 左のリストから、『アプリと機能』をクリックします。
- ⑤ 右側のスクロールバーをマウスをクリックしながら、SmartPSSの項目が表示されるまで、下へスライドさせます。
- ⑥ 『SmartPSS』の項目が表示されましたら、『SmartPSS』をクリックします。

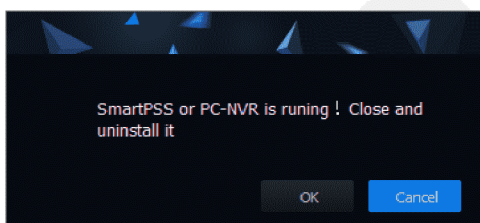


- ⑦ 「変更」と「アンインストール」のボタンが表示されますので、『アンインストール』をクリックします。
- ※下図が表示された場合、『アンインストール』をクリックしてください。


このアプリとその関連情報がアンインストールされます。

アンインストール

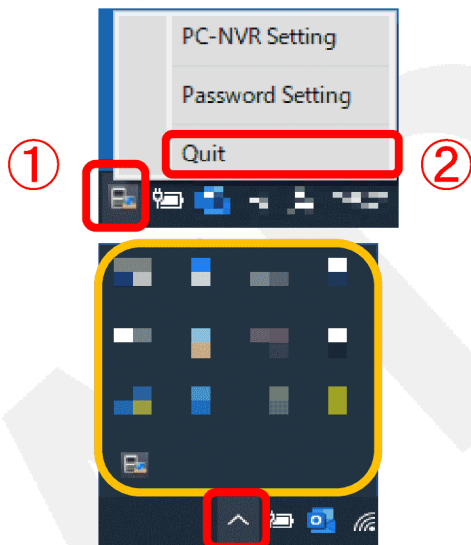
※ 下記のメッセージが表示された場合、SmartPSSまたはPC-NVR (Storage Service)が起動中です。『OK』または『Cancel』をクリックしてメッセージを消去し、SmartPSS または PC-NVR (Storage Service)を終了させてください。







i) SmartPSS の終了

SmartPSS の画面右上のをクリックし SmartPSS を終了させてください。

ii) PC-NVR (Storage Service) の終了



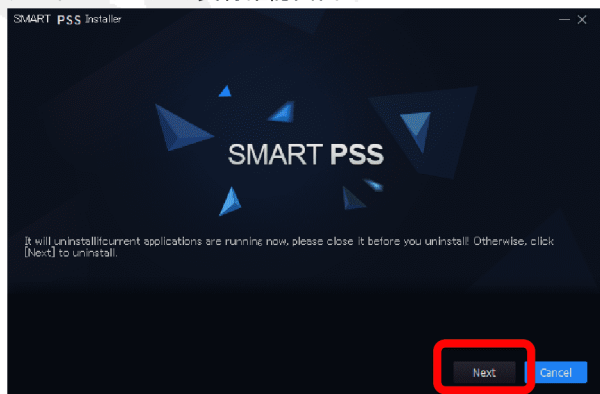
① ウィンドウズ画面の右下ののアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。

※ウィンドウズ画面の右下にのアイコンがない場合は、をクリックすると、表示されていないアイコンの一覧が表示されます。一覧の中からのアイコンを検索し、右クリックしてください。

② メニューから『Quit』をクリックし、PC-NVR (Storage Service) を終了させます。

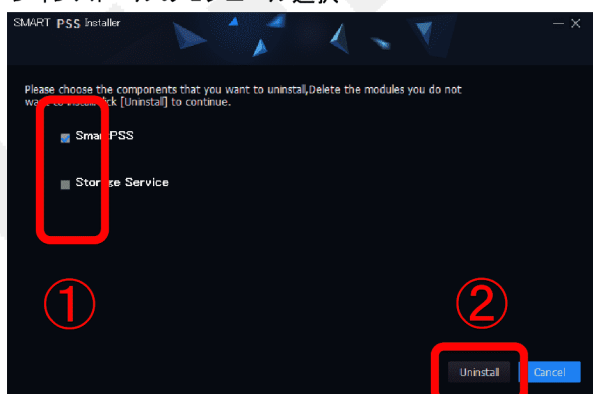
※パスワードの入力画面が表示された場合、パスワードを入力し、『OK』をクリックします。デフォルトのパスワードは“admin”です。

2) アンインストールの実行確認画面



『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) アンインストールのモジュール選択



① チェック項目からアンインストールするモジュールを選択します。

※インストールされているモジュールのみチェックが入っています。

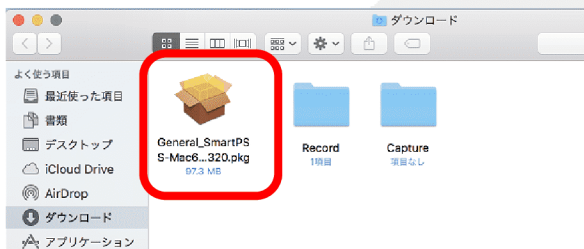
② 『Uninstall』をクリックすると、アンインストールが開始します。

2.3. MacOS 版

本手順書では SmartPSS のバージョン 2.03.00 の手順を表記しています。インストールされるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

2.3.1. インストール

1) インストールの開始



ダウンロードした”〇〇_SmartPSS_Mac〇〇.〇.pkg”をクリックしてください。

※バージョンによって pkg ファイル名が異なります。

2) インストール開始確認画面



① ⚙️ をクリックし、メニュー一覧を表示させます。

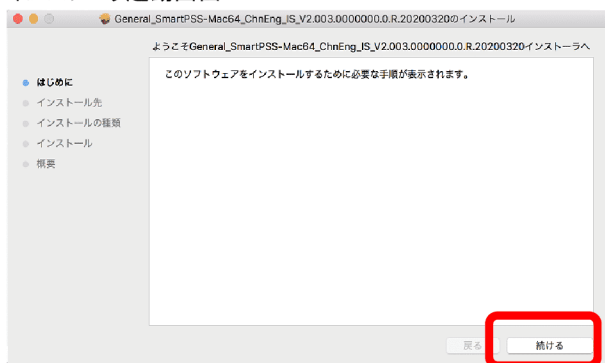
② 『このアプリケーションで開く』をクリックし、メニューを表示させます。

③ 『インストーラ』をクリックし、次の画面に移行します。

※開発者の未確認画面が表示される場合は、『開く』をクリックします。

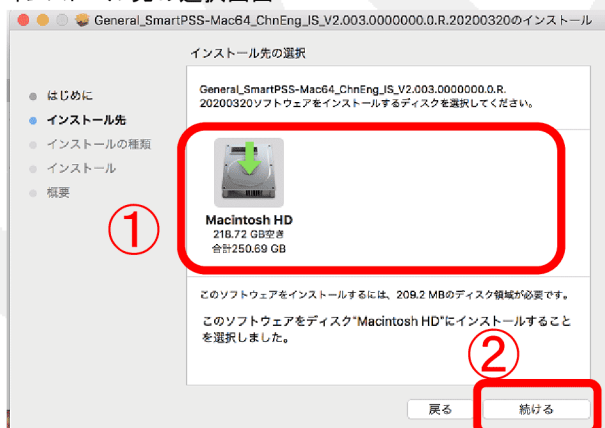


3) インストーラ起動画面



『続ける』をクリックし、次の画面に移行します。

4) インストール先の選択画面



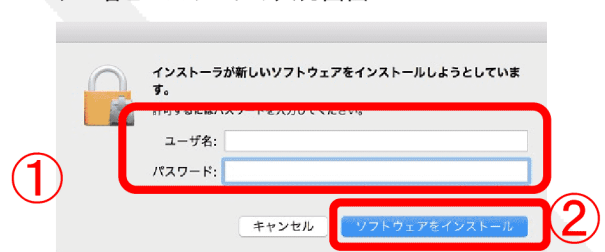
- ① SmartPSS のインストール先を変更する場合は格納先のアイコンをクリックし、インストール先を変更してください。
- ② 『続ける』をクリックし、次の画面に移行します。

5) インストール開始



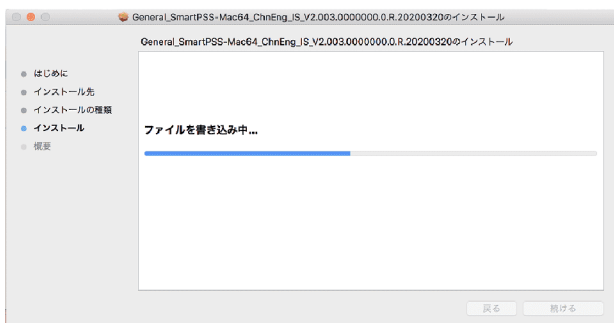
『インストール』をクリックし、次の画面に移行します。

6) ユーザー名とパスワードの入力画面



- ① [ユーザー名]と[パスワード]を入力します。
※PCのログインのユーザー名とパスワードを入力します。
- ② 『ソフトウェアをインストール』をクリックし、次のインストール画面に移行します。

7) インストール進行画面



ステータスバーが表示され、インストールの進捗状況が確認できます。

8) インストールの終了画面



『閉じる』をクリックでインストールは終了です。

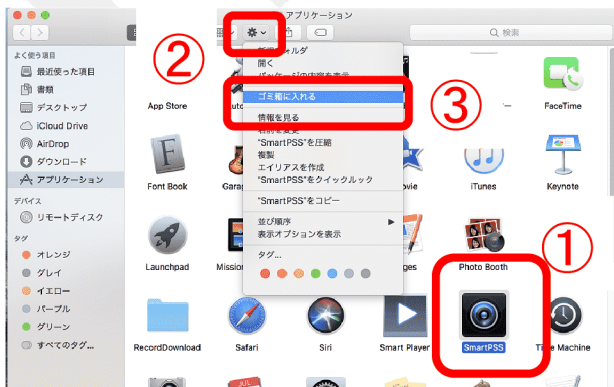
2.3.2. アンインストール


1) 移動メニューの表示



- ①メニューから『移動』をクリックし、メニュー一覧を表示させます。
- ②項目から『アプリケーション』をクリックし、アプリケーション画面を表示させます。

2) アプリケーションの削除



- ①アプリケーションの一覧から『SmartPSS』をクリックします。
- ② をクリックし、メニュー一覧を表示させます。
- ③『ゴミ箱に入れる』を選択し、SmartPSS を削除します。

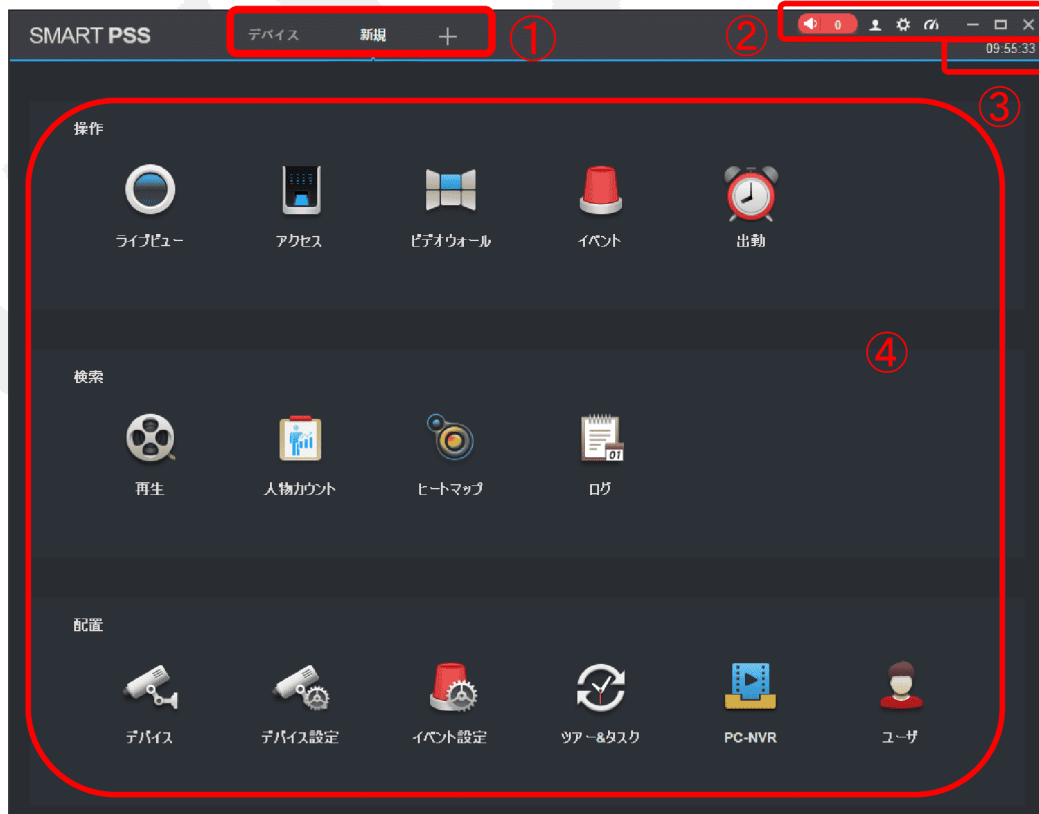
3. 操作手順









本手順書では Windows 版の SmartPSS のバージョン V2.003.0000001.0 の画面です。ご使用なられるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

本手順書内の () 内の英語表記は SmartPSS の言語が『英語』の場合の表記です。

3.1. 新規画面簡易説明

新規画面の画面説明を表記します。この画面は SmartPSS での機能を操作/設定を行うための基本画面となります。




番号	名称	機能
①	機能タブ	 をクリックすると、[新規] (New) タブが追加され機能リスト一覧が表示されます。
②	ヘルプ	<ul style="list-style-type: none">  をクリックするとイベント画面に切り替わります。 ※数字はイベントが発生した数になります。  をクリックすると「ロックスクリーン」、「ユーザー切り替え」、ヘルプマニュアル」、「製品について」、「ユーザウィザード」の設定、表示ができます。  をクリックするとシステム設定ページに進みます。  をクリックすると CPU の占有率とメモリ状態が表示されます  をクリックすると画面が最小化されます。  をクリックすると画面が最大化されます。  をクリックすると SmartPSS が終了します。

番号	名称	機能		
③	時間	 10:05:01 : システム時刻が表示されます。		
④	機能リスト	操作	 [ライブビュー] (LiveView)	ライブ映像を視聴、PTZ の操作を行うことができます。
			 [アクセス] (access)	ドアアクセスコントローラの設定、制御を行うことができます。
			 [ビデオウォール] (VideoWall)	ビデオウォールの設定を行うことができます。
			 [イベント] (Event)	SmartPSS でのカメラやレコーダのイベント受信の表示を行うことができます。
			 [出勤] (attendance)	登録情報から入出管理を行うことができます。
		検索	 [再生] (PlayBack)	録画映像を再生/エクスポートを行うことができます。
			 [人物カウント] (People Count)	ピープルカウントの解析/結果の表示を行うことができます。
			 [ヒートマップ] (Heat Map)	ヒートマップの解析/結果の表示を行うことができます。
			 [ログ] (Log)	SmartPSS、カメラならびにレコーダのログの表示を行うことができます。
		配置	 [デバイス] (Device)	SmartPSS にカメラやレコーダの追加や接続を行うことができます。
			 [デバイス設定] (Device CFG)	カメラやレコーダの各設定を行うことができます。
			 [イベント設定] (Event Config)	カメラやレコーダのイベント設定を行うことができます。
			 [ツアー&タスク] (Tour & Task)	SmartPSS のライブ映像の表示のツアー設定を行うことができます。
			 [PC-NVR] (PC-NVR)	カメラやレコーダのライブ映像を PC に録画することができます。
 [ユーザ] (User)	SmartPSS のユーザの追加・変更・削除を行うことができます。			

3.2. SmartPSS 起動



ウィンドウズの画面にある SmartPSS のアイコン  をダブルクリックします。

3.2.1. 管理者パスワード設定

初回起動時に管理者 (admin) のパスワードを設定する必要があります。

3.2.1.1. パスワード設定

- ① [パスワード] に管理者パスワードを入力します。
- ② [確認] に [パスワード] で入力した、管理者パスワードを再度入力します。
- ③ [登録後、自動ログイン] にチェックを入れた場合、管理者パスワード設定後にログイン画面を省くことができます。
- ④ 『次へ』をクリックし、管理者パスワード設定を終了します。

注意:

- i) システムのユーザー名は "admin" で固定ですが、初期パスワードはユーザーが設定してください。
- ii) パスワードは 8 文字以上です。

3.2.1.2. セキュリティ質問

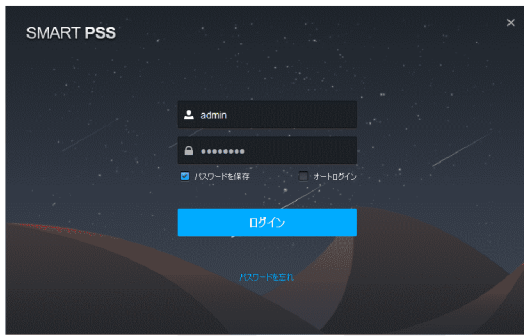
管理者パスワードを忘れた際に、SmartPSS にログイン出来なくなります。



※質問の答えは必ずメモ等にして保管してください。パスワードならびに質問の答えを忘れた場合は、再インストールになり、SmartPSS の保存設定、登録デバイス等は再設定になりますので、ご注意ください。

- ① [問題 1] ~ [問題 3] の答えを「答え」に入力します。パスワードを忘れた場合に、回答できるとパスワード設定が可能になります。
※ をクリックすると、質問を変更することが出来ます。
- ② 『終了』をクリックし、管理者パスワード設定を終了します。

3.2.2. SmartPSS ログイン

1) ログイン画面

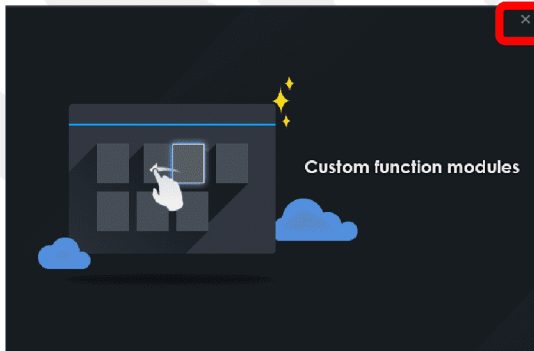



[ユーザー名] 、[パスワード]  を入力し、『ログイン』(Login)をクリックして SmartPSS にログインしてください。

※[パスワードを保存](Remember Password)、[オートログイン](Auto login)は必要に応じて設定してください。

[パスワードを保存] (Remember Password)	次回起動時に前回ログインしたパスワードが入力された状態でログイン画面が表示されます。
[オートログイン] (Auto login)	次回起動時に前回ログインしたユーザーで自動的にログインします。 ※ユーザー切り替えで設定の変更できません。


2) 機能説明映像



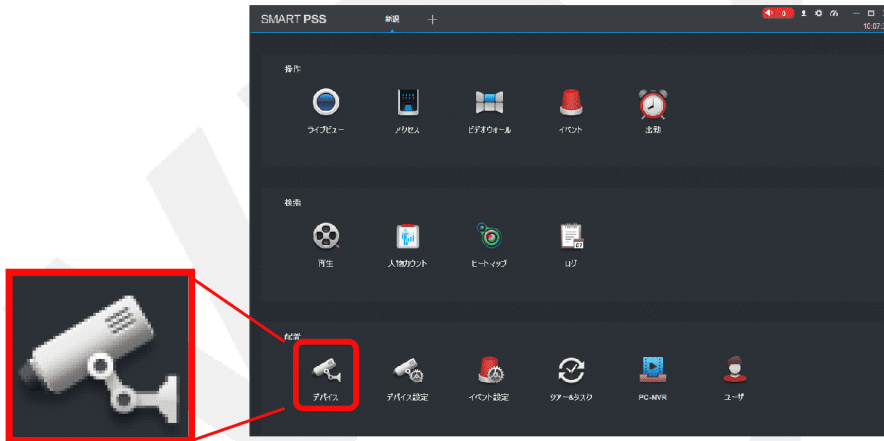
初回のログイン時に機能説明映像が表示されますので、 をクリックして終了させてください。

3.3. デバイス登録

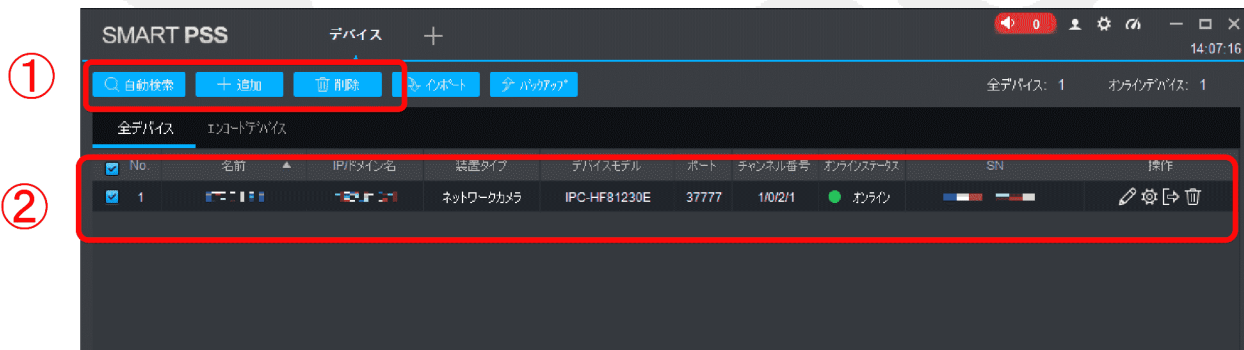
3.3.1. デバイス画面の表示


新規の画面の機能リストから『デバイス』(Device)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。



・デバイス画面



番号	項目		機能
①	デバイスメニュー	 自動検索	(Search) Dahua 社のカメラ/レコーダを自動で検出し、登録を行います。
		 追加	(Add) P2P や DDNS の設定カメラ/レコーダを手動で登録を行います。
		 削除	(Delete) 登録リストで選択されたカメラ/レコーダを登録リストから削除します。
②	登録リスト	[名前]	(Name) 登録の際に設定したデバイス名が表示されます。
		[IP/ドメイン名]	(IP/Domain Name) カメラ/レコーダの IP アドレス、P2P 接続時のシリアルや DDNS ドメイン名が表示されます。
		[装置タイプ]	(Type) 接続されているカメラ/レコーダのタイプが表示されます。
		[デバイスモデル]	(Model) カメラ/レコーダの設定されているモデル名が表示されます。
		[ポート]	(Port) 接続するポート番号が表示されます。
		[チャンネル番号]	(Channel Number) カメラ/レコーダのビデオ入力/ビデオ出力/アラーム入力/アラーム出力が表示されます。
		[オンラインステータス] (Online Status)	オンライン(Online)  オンライン はカメラ/レコーダと接続状態です。
			オフライン(Offline)  オフライン はカメラ/レコーダと接続されていない状態です。
		[SN]	(SN) カメラ/レコーダのシリアル番号が表示されます。
[操作] (Operation)		カメラ/レコーダのデバイス名、ポート番号、ユーザー名、パスワードの変更ができます。	

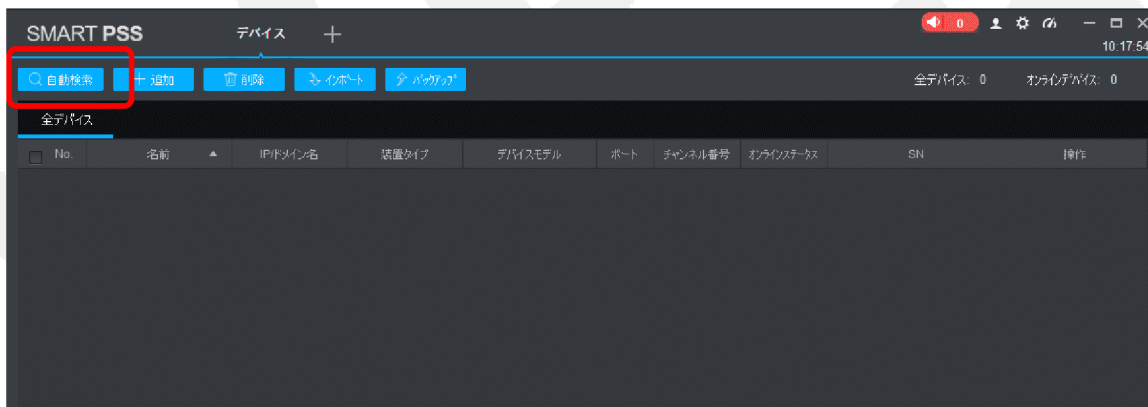
番号	項目	機能
		カメラ/レコーダのデバイス設定画面が表示されます。
		カメラ/レコーダにログイン/ログアウトをします。
		カメラ/レコーダをデバイス登録リストから削除します。

3.3.2. カメラ/レコーダの自動検索

ネットワーク内のカメラ/レコーダを自動検出し、登録を行います。

1) 自動検索画面を表示

デバイス画面左上にある **自動検索** の『自動検索』(Search)をクリックすると、自動検索画面が表示されます。



2) カメラ/レコーダの検索ならびに選択



① 検索結果一覧から登録するカメラ/レコーダを選択します。

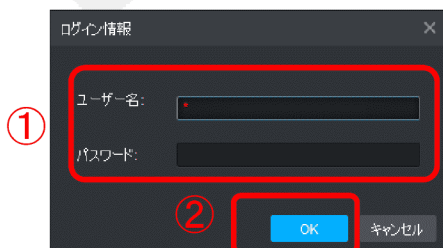
(リストの左端の にチェック を入れる。)

② 『追加』(Add)をクリックし登録します。

※一覧にない場合は『キャンセル』(Cancel)をクリックし、自動検索画面を消去し、しばらく時間を置いてから再度、『自動検索』(Search)をクリックしてください。

※有線/無線 LAN の両方を同時使用している場合は、無線 LAN のセグメントが優先され、デバイスセグメントを変更しても正しく検索されない場合があります。その際は、「3.3.3. カメラ/レコーダ手動登録」の手順で登録するか、同じセグメントに接続されている無線機の SSID に接続してください。

3) ユーザー名、パスワードの入力



① 選択したカメラまたはレコーダのログインするための [ユーザー名] (User Name) と [パスワード] (Password) を入力します。

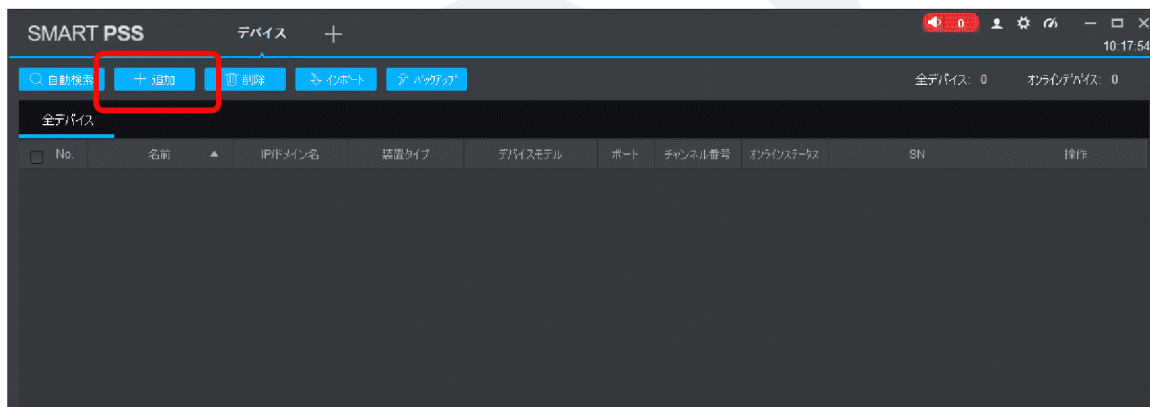
② 『OK』をクリックすると、登録リストに追加されます。

3.3.3. カメラ／レコーダ手動登録

自動検索で IP アドレスが表示されない場合やカメラ／レコーダを P2P や DDNS にて接続する場合の登録を行います。

1) 手動登録画面を表示

画面左上にある **+ 追加** の『追加』(Add)をクリックします。



2-1) 手動登録画面 (IP/DDNS 接続)

- ①接続情報を入力します。
※[登録モード](Method to add)で「IP/ドメイン」を選択した際に、手動追加画面が IP/DDNS 用に変更されます。
- ②設定が終了したら、[追加](Add)をクリックします。
※登録後に続けて他のカメラ／レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける](Save and Continue)をクリックしてください。



項目	設定内容
[チャンネル名] (Device Name)	SmartPSS に登録するデバイス名を入力します。 ※登録のカメラ／レコーダの一覧が表示された際に、カメラ／レコーダか判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード] (Method to add)	「IP ドメイン」を選択します。
[IP/ドメイン名] (IP/Domain Name)	接続するカメラ／レコーダの IP アドレス、または DDNS を設定した際のドメイン名を入力します。
[ポート] (Port)	接続するカメラ／レコーダで設定されている TCP ポートのポート番号を入力してください。デフォルトはカメラ、レコーダとも「37777」です。
[グループ名] (Group Name)	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザー名/パスワード] (User name/ Password)	カメラ／レコーダにログインするユーザー名とパスワードを入力します。






2-2) 手動登録画面 (P2P 接続)

- ①接続情報を入力します。
※[登録モード](Method to add)で「SN(P2P 対応デバイス向け)」を選択した際に、手動追加画面が P2P 用に変更されます。
- ②設定が終了したら、[追加](Add)をクリックします。
※登録後に続けて他のカメラ/レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける](Save and Continue)をクリックしてください。

項目	設定内容
[チャンネル名] (Device Name)	SmartPSS に登録するデバイス名を入力します。 ※登録のカメラ/レコーダの一覧が表示された際に、カメラ/レコーダが判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード] (Method to add)	「SN(P2P 対応デバイス向け)」を選択します。
[SN] (SN)	接続するカメラ/レコーダのシリアル番号を入力します(半角大文字)。
[グループ名] (Group Name)	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザー名/パスワード] (User name/ Password)	カメラ/レコーダにログインするユーザー名とパスワードを入力します。


3.3.4. デバイスの接続

各機能タブでカメラ/レコーダを操作する場合、オンライン状態でなければなりません。カメラ/レコーダの[オンラインステータス](Online Status)が「オンライン」(Online) の  **オンライン** 状態でない場合は、[操作](Operation)のアイコン  をクリックし、カメラ/レコーダにログインしてオンライン状態にしてください。

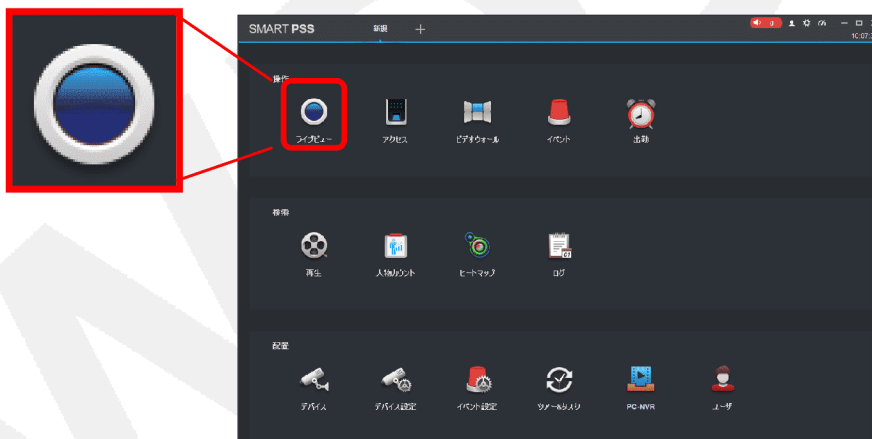
No.	名前	IP/ドメイン名	装置タイプ	デバイスモデル	ポート	チャンネル番号	オンラインステータス	SN	操作
1			N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オンライン	N/A	  
2			N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オンライン	N/A	  

3.4. ライブ映像表示

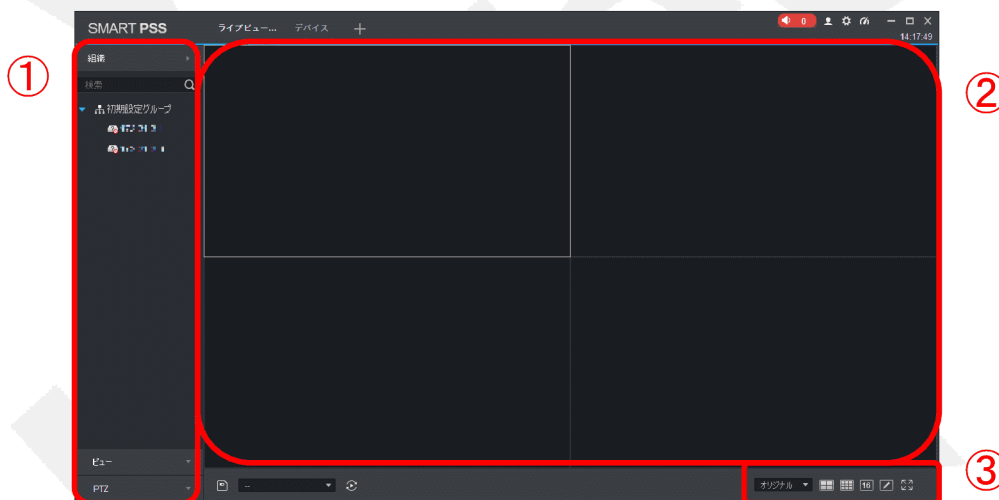
3.4.1. ライブビュー画面の表示




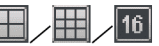




新規の画面の機能リストから『ライブビュー』(LiveView)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。




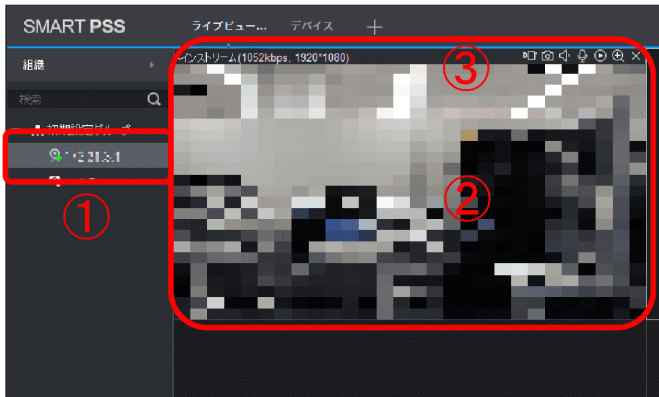
・ライブビュー画面



番号	項目	機能
①	[組織] (Organizations)	登録リストが表示されます。 カメラ/レコーダのアイコンの右下に状態のマークが付きます。 なし: ログイン状態、  : ライブビュー表示状態、  : ログオフ状態
②	ライブビューウィンドウ	指定したカメラのライブ映像が表示されます。
③	 オリジナル	表示されている全てのライブ映像の表示比率を変更します。
	 /  /  / 16	1画面に表示するライブビューウィンドウ数を 4/9/16 にします。
		1画面に表示するライブビューウィンドウ数を他の数に設定やユーザーが作成することができます。
		表示しているライブビューウィンドウがフルスクリーンで表示されます。

3.4.2. ライブ映像の表示


※ライブ映像を表示させるカメラ/レコーダがログオフ状態(アイコンにが付いている)場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ/レコーダにログインしてください。



※白い枠線に映像が出力されますので、ライブ映像を表示したいウィンドウでクリックし白い枠線を変更させてください。また、レコーダをダブルクリックした場合は白い枠線のウィンドウから順にライブ映像が表示されていきます。

①ライブ映像の表示したいカメラ/レコーダをダブルクリックします。

※NVRレコーダは接続されているカメラ全て表示されます。

※レコーダ内のカメラを指定したい場合は右にあるをクリックして表示したいカメラを選択してください。

②白い枠線のウィンドウに映像が表示されます。

※映像が表示された場合、アイコンにが付きます。

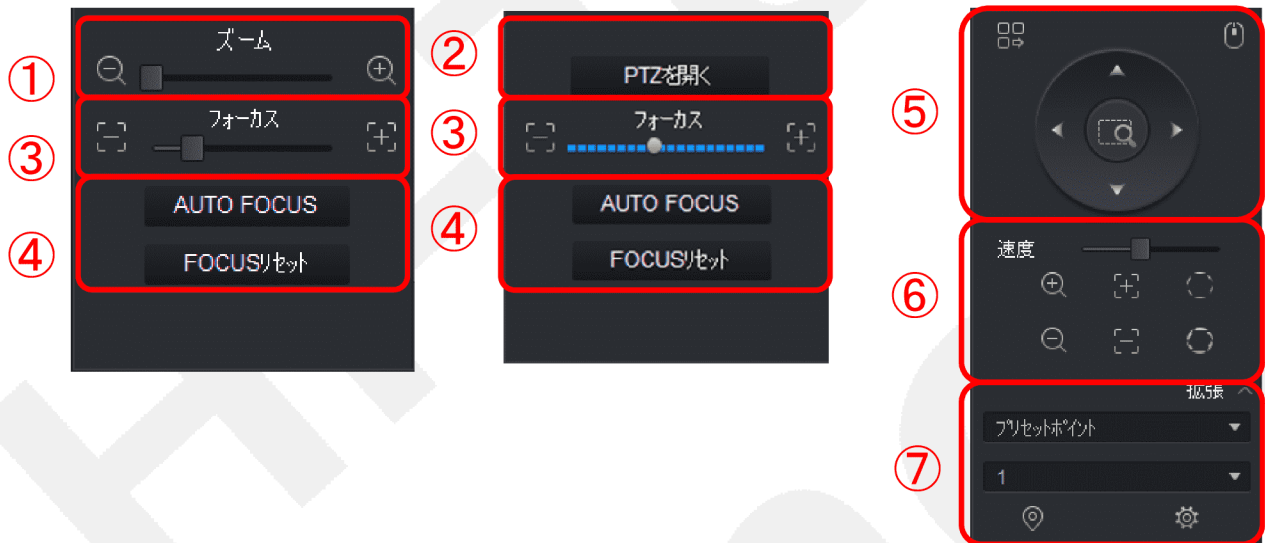
③ライブ映像表示中に、画面上部にマウスを合わせると、下のアイコンが表示されます。



カメラにマイクが取り付けられた場合、上記アイコンをクリックすると音声の流れます。

3.4.3. PTZ 操作

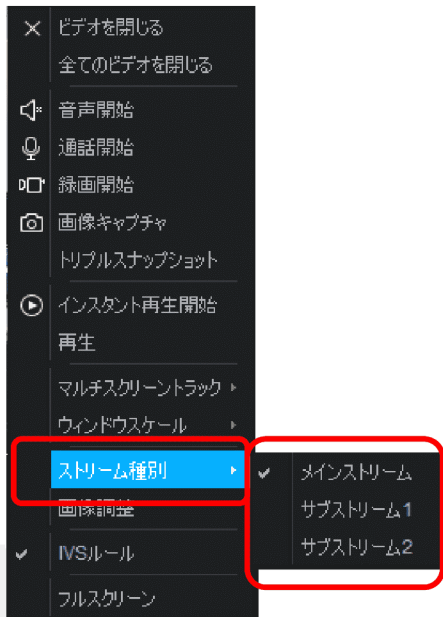
PTZ 操作画面は指定したカメラによって画面が異なります。



番号	項目	機能	
①	ズーム	か をクリックしてズームを調整します。	
②	PTZ への切り替え	『PTZ を開く』(Switch to PTZ)をクリックすると、システムが PTZ コントロールにジャンプします。	
③	フォーカス	か をクリックしてピントを調整します。	
④	オートフォーカス	『AUTO FOCUS』(Auto Focus)をクリックするとオートフォーカスが作動します。	
	フォーカスのリセット	『FOCUS のリセット』(Reset Focus)をクリックするとリセットされます。	
⑤	メニュー	をクリックすると PTZ メニューに移動し、カメラの OSD の表示 / 操作ができます。	
	マウスシミュレーター	をクリックするとマウスで PTZ が操作できます。	
	方向	、、、 をクリックすると、PTZ を移動させることができます。	
	3D 位置	をクリックし、ライブビューウィンドウ内に枠を描くと、描画枠に合わせ、PTZ の移動やピントを調整します。	
⑥	速度	PTZ の移動速度を制御します。1~8 の移動ステップに設定できます。	
	ズーム	か をクリックしてズームを調整します。	
	フォーカス	か をクリックしてピントを調整します。	
	絞り	か をクリックして明るさを調整します。	
⑦	[拡張] (More Functions)	プリセット	で [プリセット] (Preset) を選択し、 にてプリセットを設定すると、カメラに設定したプリセット位置に で簡単に移動することができます。 注意： 最大 128 個のプリセットを設定することができます。
		ツアー	で [ツアー] (Tour) を選択し、 にてツアー を設定すると、 でカメラの設定したプリセットポイント間を巡回することができます。 注意： 最大 8 個のツアーを設定することができます。
		パン	で [パン] (Pan) を選択し、 をクリックすると、水平に回転します。
		スキャン	で [スキャン] (Scan) を選択し、2 つの端点 を設定すると、設定した端点の間でカメラが繰り返し回転します。
		パターン	で [パターン] (Pattern) を選択し、 をクリックすると、カメラの操作が記録され、 をクリックすると記録どおりの動作をさせることができます。
		予備	で [Aux] (Aux) では、予備コマンドに進んで予備ポイントが起動できます。
		ワイパー	で [ワイパー] (Wiper) を選択し、 をクリックすると、ワイパーが動作します。

3.4.4. ライブビュー ストリーム切替

ライブ画面上で、マウスを右クリックし、ストリームをクリックします。これにより、ライブ映像をメインストリームかサブストリームで表示するかを選択する事が出来ます。

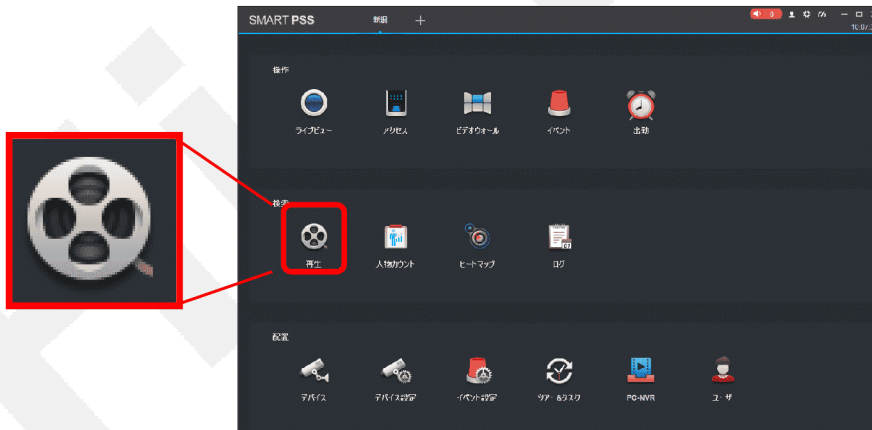


3.5. 録画再生

3.5.1. 再生画面の表示

新規の画面の機能リストから『再生』(PlayBack)のアイコンをクリックします。

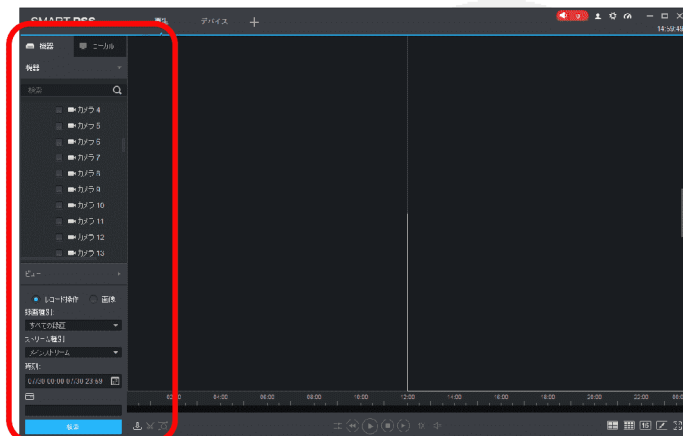
※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。



3.5.2. 録画再生

※録画再生を行うカメラ/レコーダがログオフ状態(アイコンにが付いている)場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ/レコーダにログインしてください。


1) 録画データの条件を指定

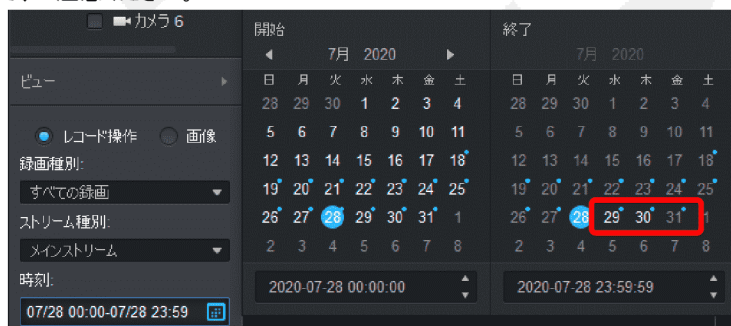


以下の条件を設定します。

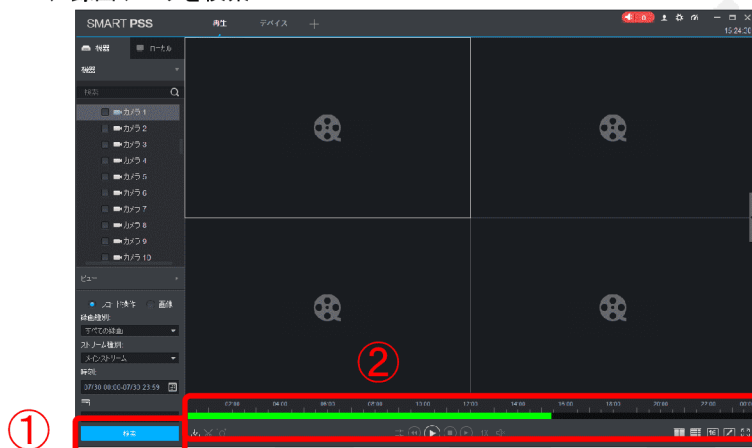
- ・録画再生を行うカメラ
- ・[レコード操作](Record)／[画像](Picture)
- ・[録画種別](Record Type)
- ・[ストリーム種別](Stream Type)
- ・[時刻](Time)

項目	機能	
[機器] (Device)	デバイス画面で登録されたカメラ/レコーダの一覧が表示されます。	
[レコード操作] (Record)	動画の録画データを取得します。	
[画像] (Picture)	静止画(スナップショット)の録画データを取得します。	
[録画種別] (Record Type)	すべての録画 (All Record)	全ての録画データを取得します。
	一般の記録 (General)	標準の録画データを取得します。
	アラーム録画 (Alarm Record)	アラームにより録画されたデータを取得します。
	MD(動体検知録画) (MD)	動体検知により録画されたデータを取得します。
	インテリジェント (Intelligent)	インテリジェントにより録画されたデータを取得します。
カード録画 (Card Record)	カード番号で録画されたデータを取得します。	
[ストリーム種別] (Stream Type)	メインストリーム (Main Stream)	メインストリームの録画データを取得します。
	サブストリーム (Sub Stream)	サブストリームの録画データを取得します。
[時刻] (Time)	取得する録画データの日時を設定します。	

※時刻のをクリックした際に、開始/終了のカレンダーが表示されます。そのカレンダーにて開始の日時を指定した際に終了の日時の設定できる日にちが制限されますが、この日時は再生可能な日時ではありません。再生可能な時間は最大24時間ですので、ご注意ください。

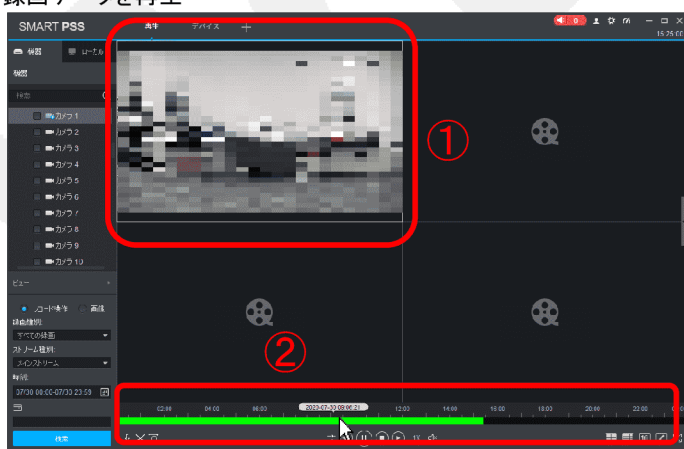


2) 録画データを検索



- ①『検索』(Search)をクリックします。
- ②録画データがある場合は、タイムバーに緑色のバーで録画されている時間が表示されます。

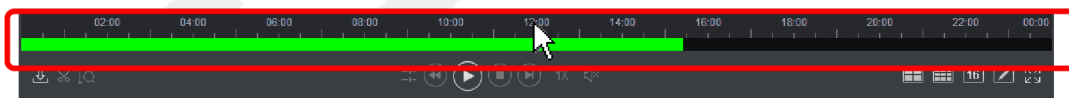
3) 録画データを再生



- ①のアイコンのあるウィンドウをクリックします。
- ②タイムバー上で再生したい時間位置をクリックします。①でクリックしたウィンドウに録画映像が表示されます。

※機種によっては、逆再生ができない場合があります。

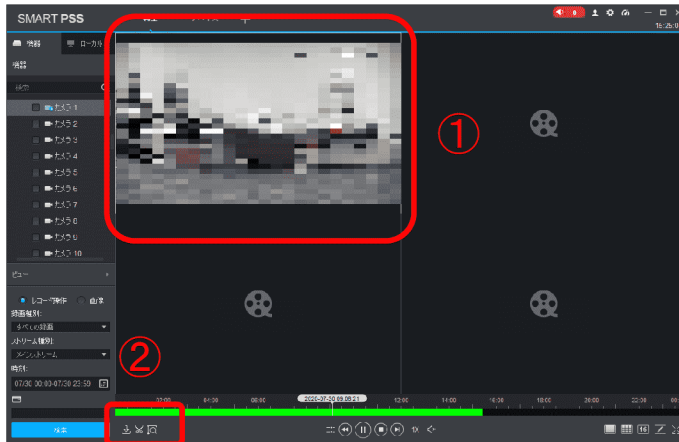
※時間表示はタイムバー上でマウスのホイールを回転させることで、24時間表示(2時間間隔)から7分表示(1分間隔)で表示することができます。また、タイムバーの表示されている時間上でクリックした状態で左右に動かすことで表示している時間を変更することができます。




3.5.3. エクスポート

※エクスポートを行うには、先に「3.5.2.録画再生」の手順で録画再生を行ってください。

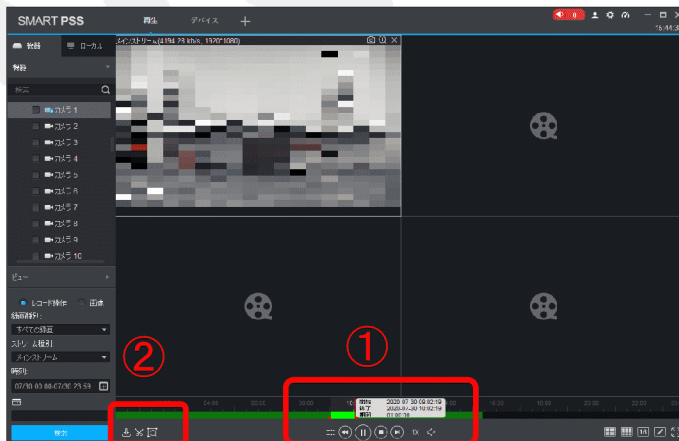
1) エクスポートの開始





①エクスポートする再生中のウィンドウをクリックします。


②エクスポートを行う録画時間に  をクリックします。

2) エクスポートの開始/終了時間を指定



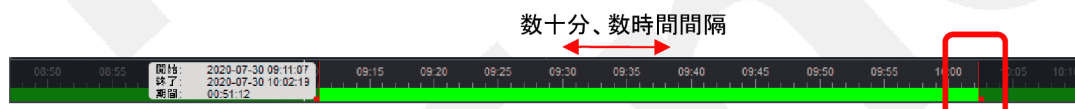
①  が表示されますので必要に応じてエクスポートする録画時間（開始時間、終了時間）をマウスで調整してください。

②録画の切り取り部分が決まりましたら、もう一度  をクリックします。

※タイムバーの時間表示の間隔を数分間隔に表示している場合は、エクスポートの時間設定時に設定枠  がタイムバーの表示内にない場合があります。



無い場合は、タイムバーの表示している時間をクリックした状態でスライドさせ表示時間を変更させるか、またはマウスのホイールを回転させて時間表示の間隔を数十分や数時間間隔に縮小表示すれば設定枠はタイムバー内に表示されます。



3) エクスポートの保存先指定



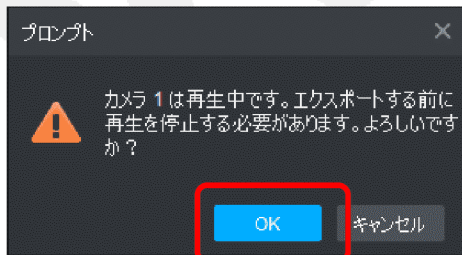
- ①エクスポートの[パス](Path)を選択します。
 - ②エクスポートの[ファイル形式](Export Format)を選択します。
 - ③[OK] をクリックします。
- ※エクスポートするために再生の停止情報が表示されたら、[OK] をクリックします。

ファイル形式	再生
ASF	全ての Windows Media Player で再生可能
AVI	全ての Windows Media Player で再生可能
MP4	Windows Media Player 12 以降で再生可能
オリジナル形式	SmartPlayer で再生可能(Dahua 社の再生ソフト)

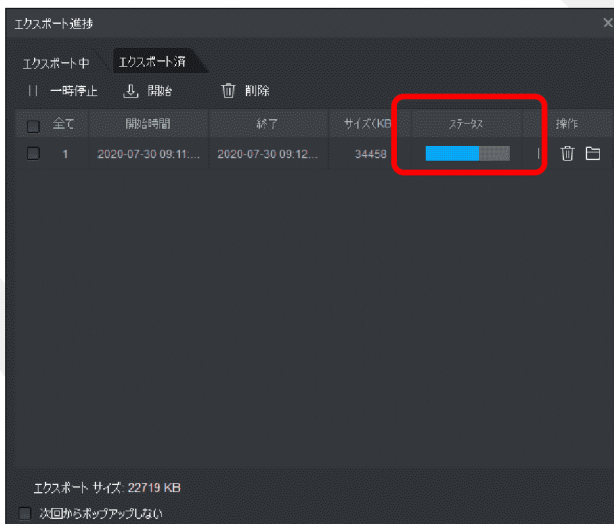
※[ファイル形式](Export Format)が[元フォーマット](Original Format)に設定されている場合、[SmartPlayer をエクスポート](Export Smart Player)にチェックマークを入れると、元フォーマットの再生プレーヤーもエクスポートされます。

4) 再生停止確認

再生を行いながらのエクスポートはできませんので、下記の画面が表示された場合は、[OK] をクリックします。



5) エクスポート画面




エクスポートが開始されると、[エクスポート進捗](Export Progress) の画面が表示されます。
[ステータス](Status)が 100%になればエクスポート終了です。
エクスポートが終了した項目は、[エクスポート進捗](Export Progress) のリストから[エクスポート済み](Exported) のリストに移動します。

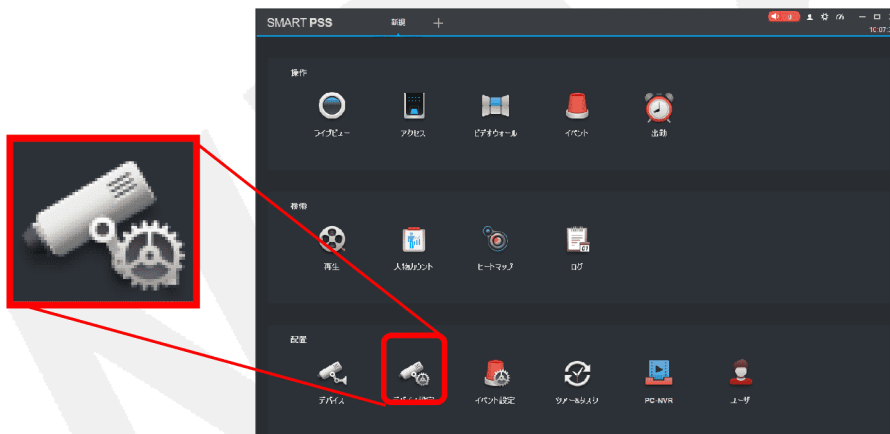
※[エクスポート済み] (Exported) タブをクリックすると、エクスポート履歴の表示やエクスポート保存先のフォルダを開くことができます。

3.6. エンコード設定

3.6.1. デバイス設定画面の表示

新規の画面の機能リストから『デバイス設定』(Device CFG)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。

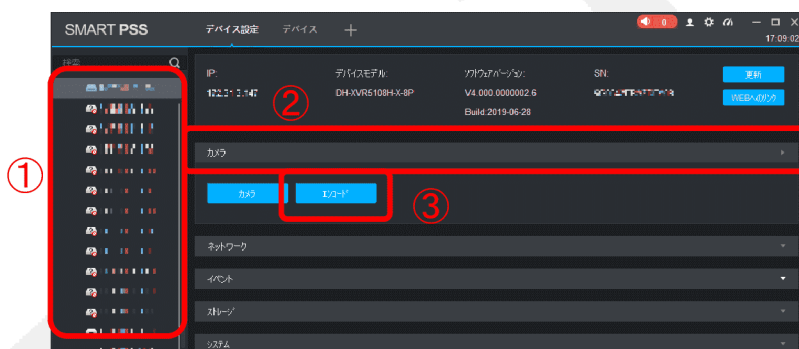


3.6.2. エンコード設定


※設定を変更させるカメラ/レコーダがログオフ状態(アイコンにが付いている)場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ/レコーダにログインしてください。

1) エンコード設定画面を表示

※カメラやレコーダによってボタンの有無など一部異なる画面になる場合がございます。



①カメラ/レコーダを選択します。

②[カメラ](Camera)のアイコン  をクリックし、カメラの項目を表示させます。

③[エンコード](Encode)をクリックします。

・エンコード設定画面



番号	項目	機能
①	[チャンネル番号] (Channel No)	エンコードを変更するチャンネル番号を選択します。 ※レコーダのみ。但し、DVRレコーダにて、チャンネルタイプをIPカメラ、またはIPカメラの追加を設定している場合、チャンネル番号に接続されている全てのチャンネルが表示されない場合がございます。
②	[ストリーム] (Stream Type)	変更するストリームを選択します。「通常」(General)、「MD」(MD)、「アラーム」(Alarm)の個々の状態での設定が可能です。
③	[ビデオ設定] (Video Setup)	サブストリームの有効/無効を設定します。
④	[圧縮] (Encode Type)	ビデオの圧縮形式を選択します。 ※カメラやレコーダによって設定可能な圧縮形式が異なります。
	[スマートコード] (SmartCode)	スマートコーデックを使用するか否かを設定します。 録画ビデオのビデオビットストリームを削減して、データ容量を軽減します。
	[解像度] (Resolution)	ビデオ映像の解像度を選択します。
	[フレームレート(FPS)] (FPS)	1秒間のコマ数を設定できます。コマ数が多いほど、滑らかな映像が記録できます。
	[ビットストリーム] (Bit Stream)	1秒間のデータ量を設定できます。 データ量が多いほどクリアな映像が記録できますが、その代わりに録画データの量が多くなります。Dahua製品ではこのビットレートの設定が映像の品質に直結します。
	[参照ビットレート] (Ref Stream)	設定可能なビットストリームが表示されます。
	[Iframes] (Iframes)	2つの参照フレーム間の間隔の数を設定します。
	[オーディオ設定] (Audio Setup)	オーディオの有効/無効の設定をします。
	[エンコードモード] (Encode Mode)	オーディオ形式を選択します。 G.711A、G.711U、PCMなどの選択ができます。
	[音声ソース] (Audio Source)	音声入力先を選択します。 BNC:レコーダのオーディオコネクタ、同軸:カメラ側のマイク入力部
⑤	[適応] (Apply)	設定の保存処理を行い、引き続き設定を行うことができます。
	[保存] (Save)	設定を保存し、エンコード設定画面は消去します。
	[キャンセル] (Cancel)	設定を保存せずにエンコード画面を消去します。

2) エンコード設定



- ①メインストリーム／サブストリームの設定を変更します。
- ②[保存](Save)をクリックします。

※NVRのエンコード画面からIPカメラのエンコードを変更した場合、エンコードが変更されないIPカメラがあります。

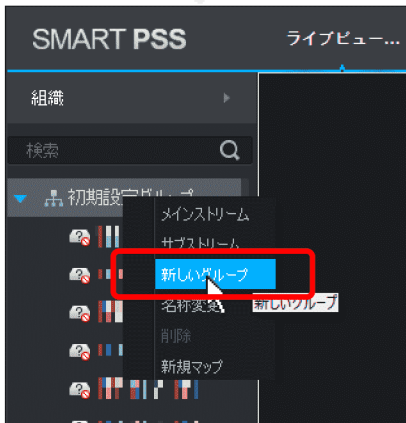
3.7. デバイスグループ設定

ライブビューと再生画面でデバイスを分類できるグループの作成手順です。

※デバイスの設定はバックアップに反映されません。バックアップ手順は、5.2.3. SmartPSS のシステムバックアップを参照下さい。

3.7.1. 新しいグループの作成①

「ライブビュー」画面を開き、「新しいグループ」をクリックします。



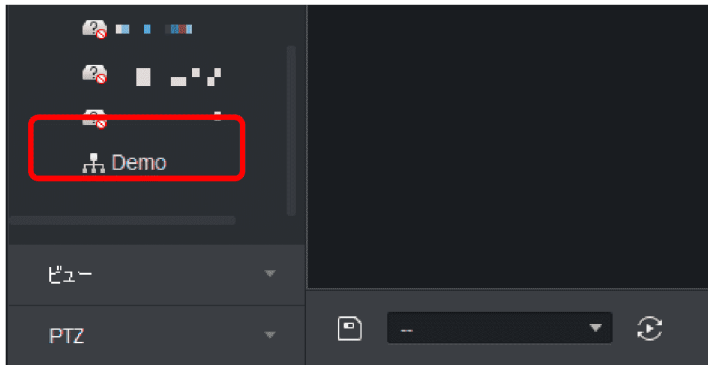
3.7.2. 新しいグループの作成②



- ①「名前」に任意の名前を入力します。
- ②「保存」をクリックします。

3.7.3. 新しいグループの作成③

画面下に作成した  のアイコンのグループが追加されます。デバイスのアイコンをドラッグし、グループのアイコンにドロップするとデバイスが移動します。





3.8. ツアー設定

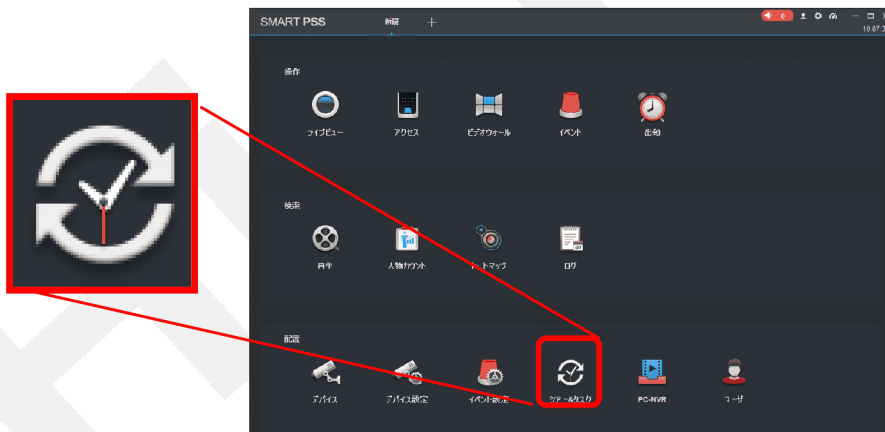
SmartPSS に登録されたデバイスから、お好みの映像を組み合わせる順番に表示させる機能です。ツアー画面は複数作成し、指定した時間で巡回表示させる事も可能です。

※グラフィックボードを搭載した PC を使用する事を推奨。

3.8.1. ツアー設定①

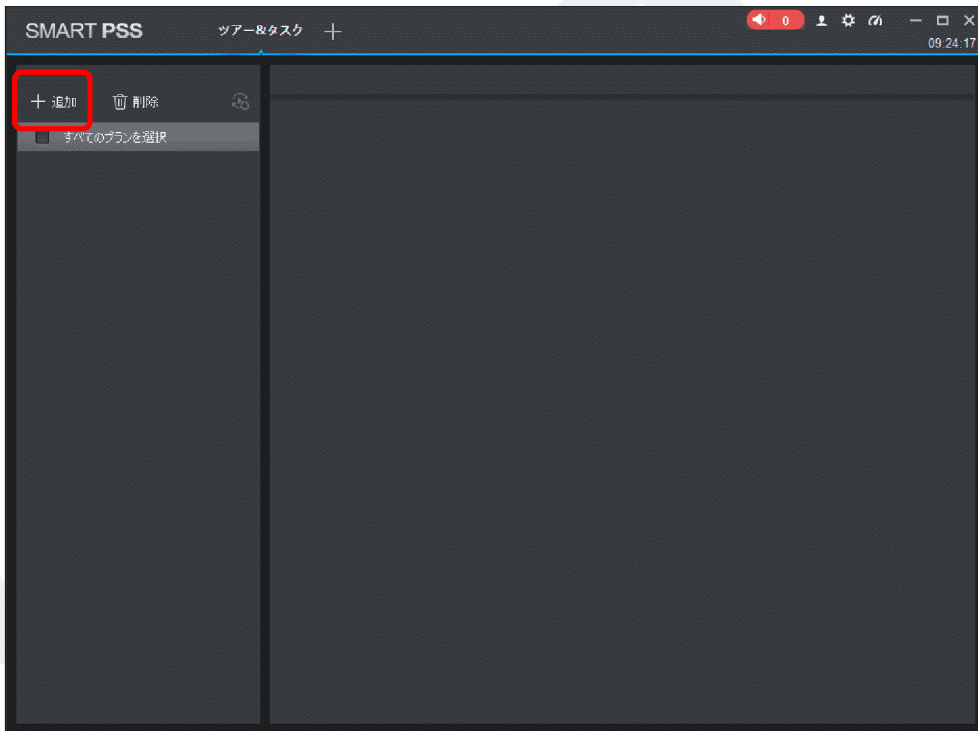
新規の画面の機能リストから『ツアー&タスク』(Tour&Task)のアイコン  をクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)の  をクリックしてください。



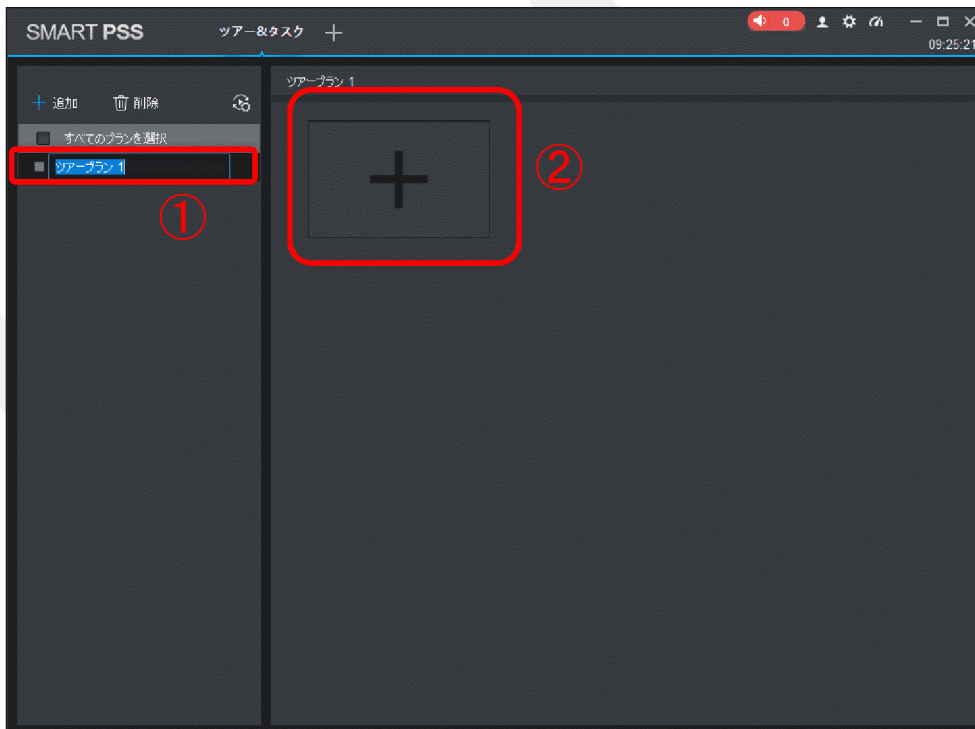
3.8.2. ツアー設定②

左上にある「追加」をクリックします。



3.8.3. ツアー設定③

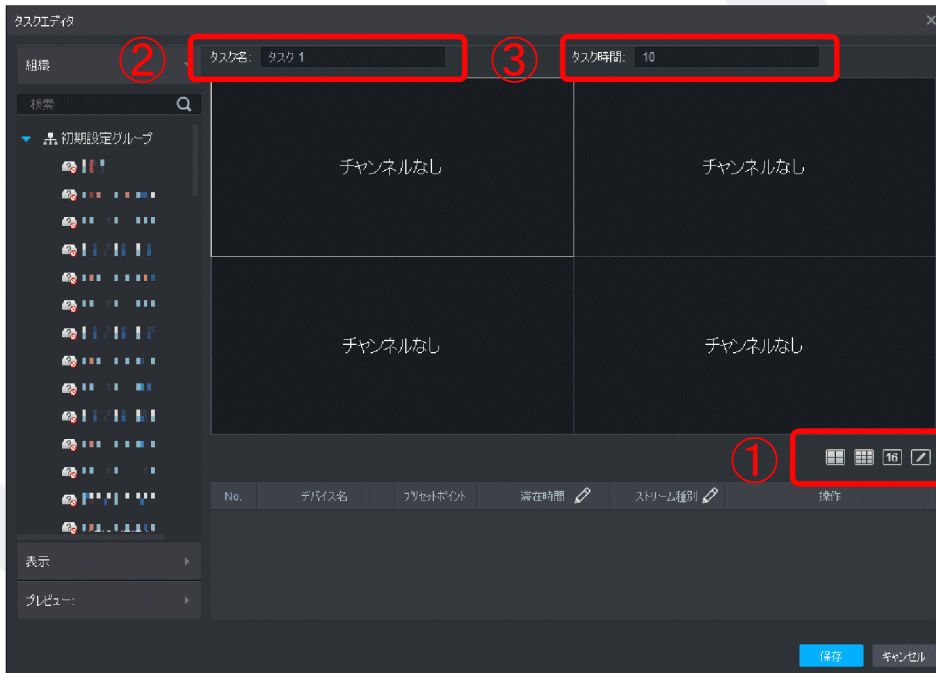
- ①左ペインにツアータスクが追加されますので、ツアー名を変更する場合は変更してください。
- ②右ペインに「+」が表示されるので、「+」をクリックします。



3.8.4. ツアー設定④

以下の画面が表示されます。

- ①画面分割を変更する場合、右下のアイコンから変更します。
- ②タスク名 : 表示する画面に名前を付ける事が出来ます。
- ③タスク間隔 : ツアーの表示時間を設定します(デフォルト 10 秒)。



※注意: 画面表示は 32 画面(サブストリーム) 以下を推奨。

3.8.5. ツアー設定⑤

- ①左ペインから登録したデバイスを、右ペインの表示したい画面にドラッグして登録します。
- ②登録後、表示するストリームを選択します。
- ③全ての画面にデバイスを登録したら、「保存」をクリックします。



※注意

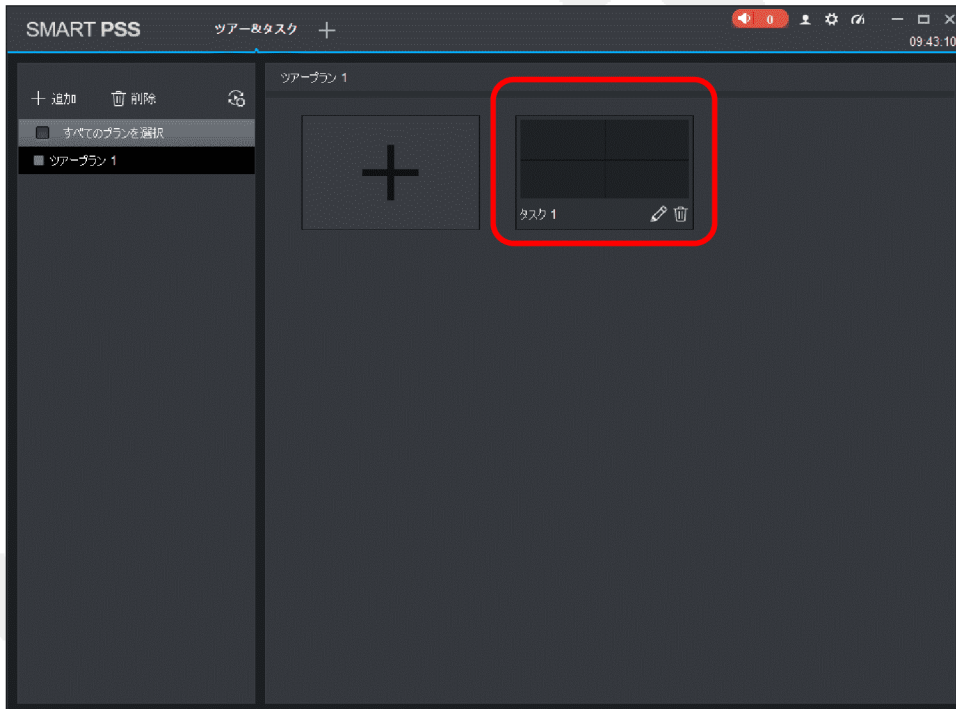
画面に表示するストリームの設定は以下を推奨しています。

- 4 画面まで : メインストリーム
- 4 画面以上 : サブストリーム


3.8.6. ツアー設定⑥

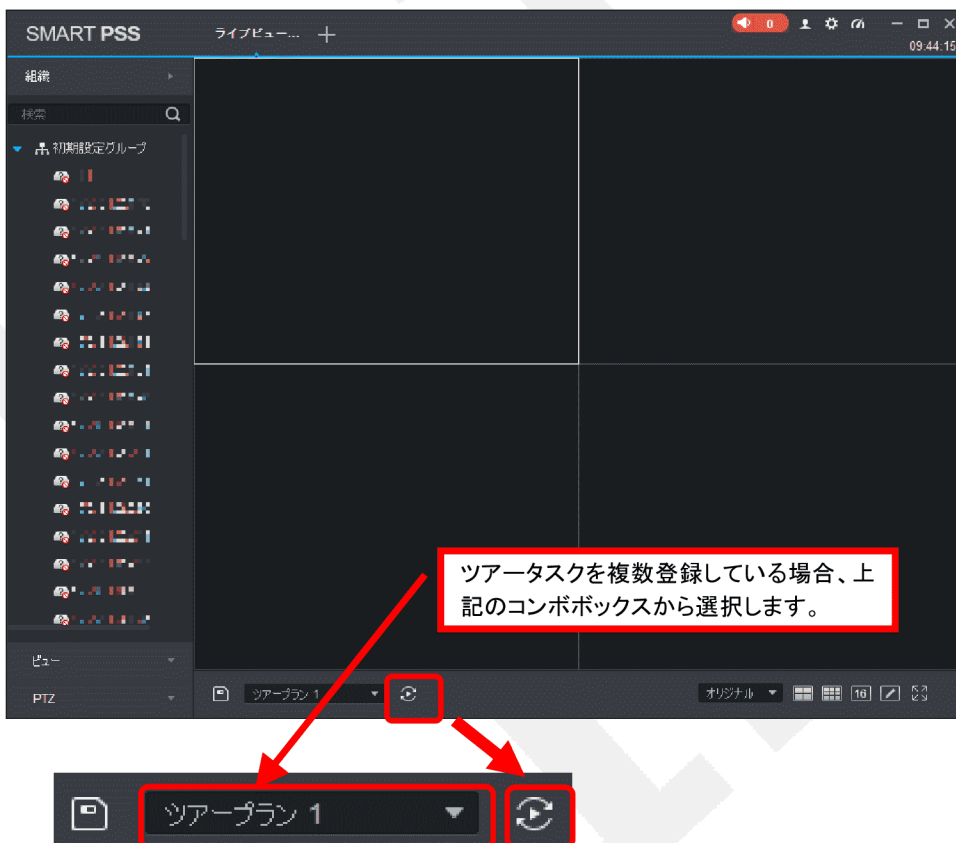
タスクが登録された事を確認します。

更に追加する場合は、3.8.3. に戻り追加のタスクを登録します。ツアーは登録したタスクを順番に表示します。



3.8.7. ツアーの実行

ライブビューを開き、画面下の  アイコンをクリックするとツアーが開始され、もう一度クリックすると停止します。

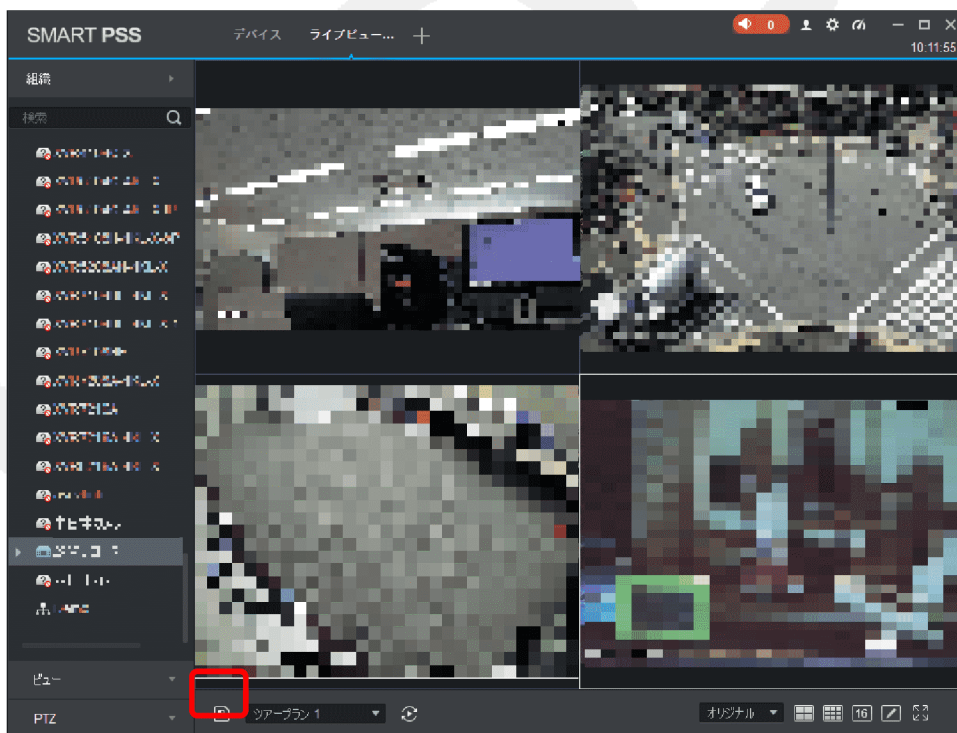


3.9. ビュー設定

SmartPSS に登録されたデバイスから、お好みの映像を組み合わせた画面を表示させる機能です。
※ツアーと違い、1画面のみの登録となります(複数の分割画面を登録可能)。

3.9.1. ライブビューの表示

ライブビューを表示し、ビューに登録したい画面を選択し、画面左下の  の保存ボタンをクリックします。



3.9.2. ビューの登録

以下の画面が表示されるので、必要な情報を入力して保存をクリックします。

ビューの保存

ビュー名:

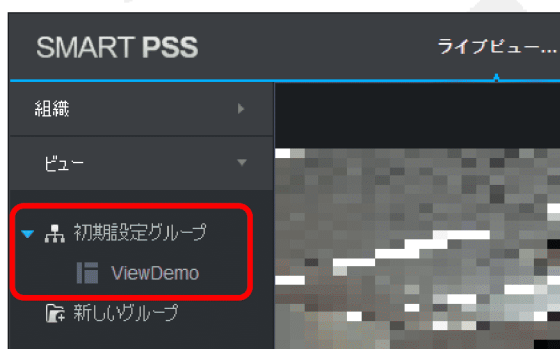
グループ名: 初期設定グループ

モニタープラン保存先: ツアープラン 1

「ビュー名」
ビューの名前を入力。
「グループ名」
所属されるグループ名を選択。
「モニタープラン保存先」
チェックしてツアー名を選択すると、そのツアーにこのビューを追加する。

3.9.3. ビューの表示

ライブビューのビュータブに、登録したビューが表示されます。ビューをダブルクリックすると、登録した画面が表示されます。



3.10. E-Map 設定

SmartPSS にライブビューにマップを登録し、デバイスを配置する機能です。これによって、カメラ配置を直感的に理解できる監視環境を構築できます。

3.10.1. マップ作成①

3.10.1.1. マップ作成①

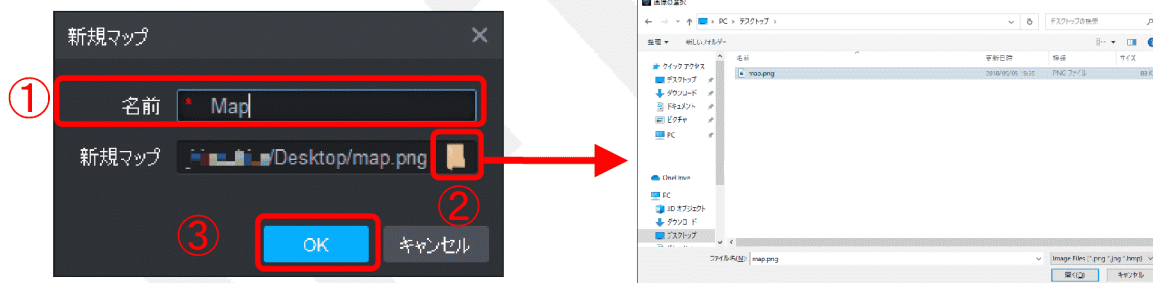
SmartPSS からライブビューを開き、「初期設定グループ」を右クリックし、「新規マップ」をクリックします。



3.10.1.2. マップ作成②

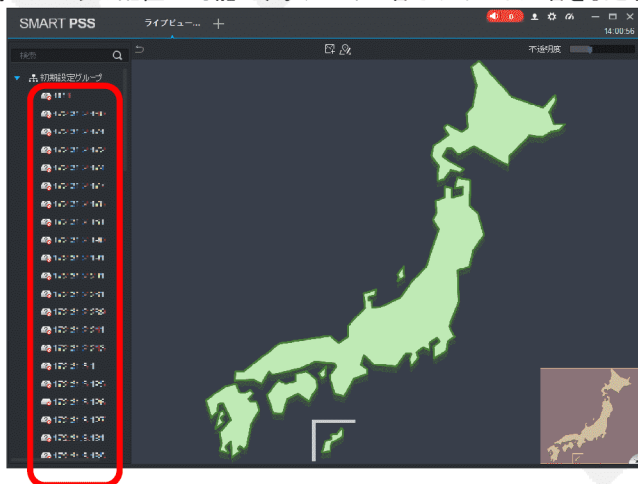
以下の画面が表示されます。

「名前」(①)にマップ名、「新規マップ」のアイコン(②)をクリックし、エクスプローラ画面から表示したい画像(PNG/JPG/BMP)を選択して、「保存」(③)をクリックして下さい。



3.10.1.3. マップ作成③

画像取り込みに成功すると、その画像が e-Map として表示されます。そのまま左側のデバイスツリーからデバイスをドラッグする事でカメラの配置が可能です。デバイス名はチャンネル名を引き継いで表示されます。




3.10.1.4. マップ作成④

配置したカメラは以下のように表示されます。



3.10.1.5. マップ作成⑤

マップの左上にある  のアイコンをクリックすると、追加したマップのアイコンが表示されます。ダブルクリックすると、e-Map が開きます。



3.10.2. E-Map サブマップ作成

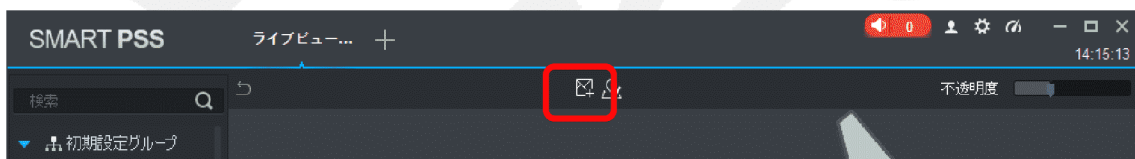
3.10.2.1. サブマップ作成①

e-Map ではサブマップを作成する事で、マップに階層構造を持たせる事が可能です。編集したいマップを右クリックし、「編集」をクリックして下さい。




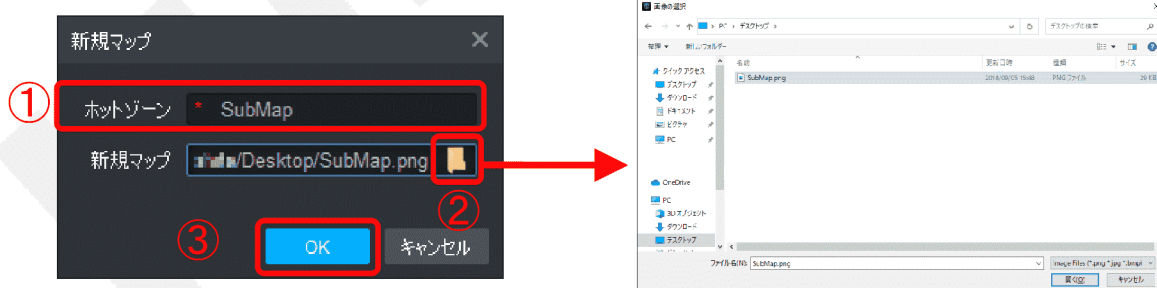
3.10.2.2. サブマップ作成②

ライブ画面上部中央にある、のアイコンをクリックして下さい。



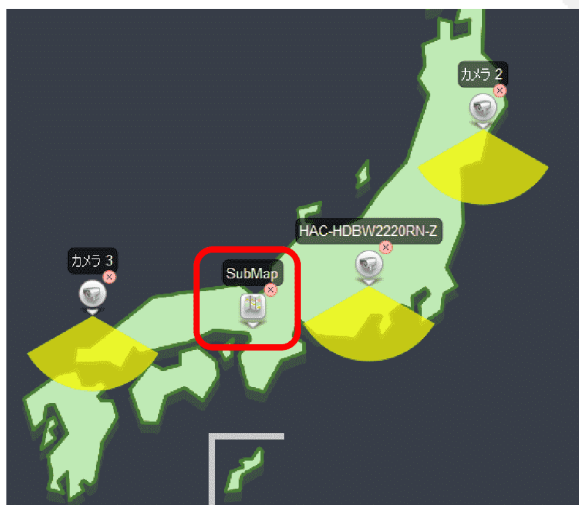
3.10.2.3. サブマップ作成③

「ホットゾーン」(①)にサブマップ名、「新規マップ」の  アイコン(②)をクリックし、エクスプローラ画面から表示したい画像 (PNG/JPG/BMP) を選択して、「保存」(③)をクリックして下さい。



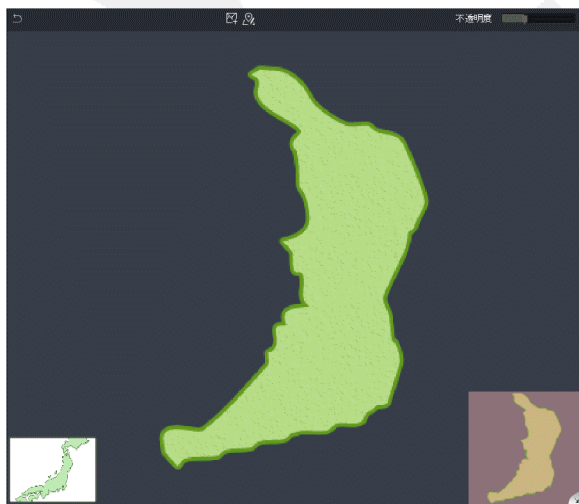
3.10.2.4. サブマップ作成④

サブマップのアイコンが追加されるので、アイコンを置きたい場所に配備する。サブマップのアイコンをダブルクリックする事で、その画面が表示されます。



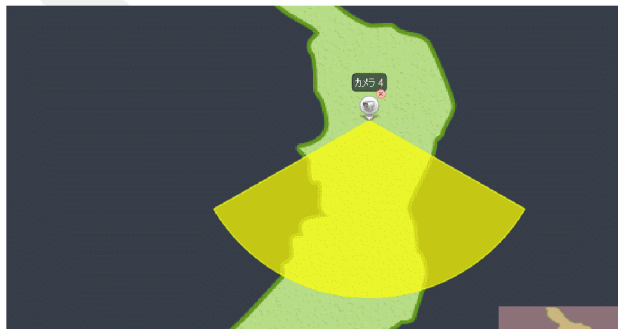
3.10.2.5. サブマップ作成⑤

サブマップ画面でも、そのまま左側のデバイスツリーからデバイスをドラッグする事でカメラの配置が可能です。デバイス名はチャンネル名を引き継いで表示されます。




3.10.2.6. サブマップ作成⑥

配置したカメラは以下のように表示されます。



3.10.2.7. サブマップ作成⑦

 アイコンをクリックすると、データを保存し、前の画面に戻ります。



3.10.3. E-Map 使用方法

3.10.3.1. レコーダの接続

レコーダにログインして下さい。

3.10.3.2. e-Map の表示①

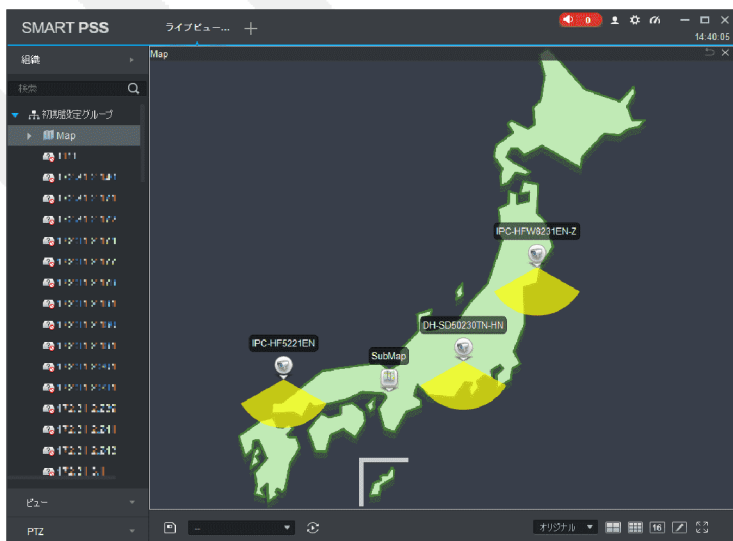
ライブビュー画面から表示したい e-Map マップのアイコンをダブルクリックして下さい。e-Map はライブ画面と同じく、1 画面からそれ以上の分割画面で表示が可能です。

※1 つのマップを複数画面で表示しても、画面間での連携は行いません。



3.10.3.3. e-Map の表示②

以下の画面が表示されます。



デバイスのオンラインかオフラインの状態、アイコン表示が少し変化します。

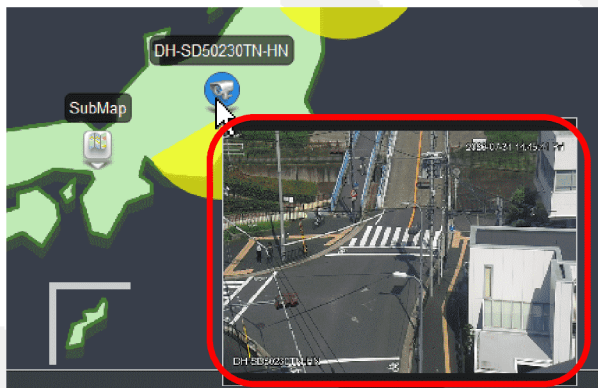
○オンライン(白)

○オフライン(グレー)



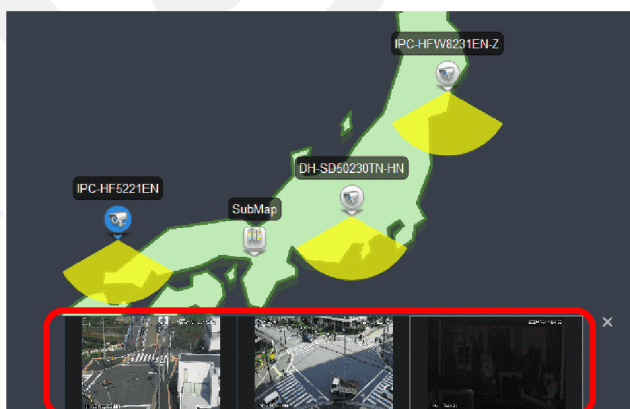
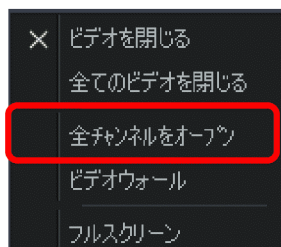
3.10.3.4. ライブ映像表示(サブストリーム)

カメラアイコンにマウスを近づけ、数秒すると、サブストリームのライブ画面が表示されます。



3.10.3.5. 全チャンネルオープン

右クリックして、「全チャンネルをオープン」をクリックすると、そのマップ上に登録されたカメラのライブ映像がサブストリームで表示されます。



※この画面は動かす事が出来ません。

3.10.3.6. ビデオウォール

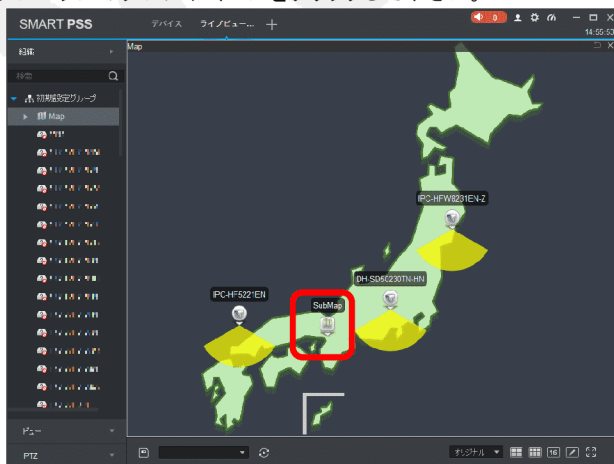
右クリックして、「ビデオウォール」をクリックすると、そのマップ上に登録されたカメラのライブ映像が別ウィンドウかつ、サブストリームで表示されます。



※この画面は動かす事が可能ですが、画面の大きさの変更は出来ません。
チャンネル数が増減しても、画面の大きさは変わりません。

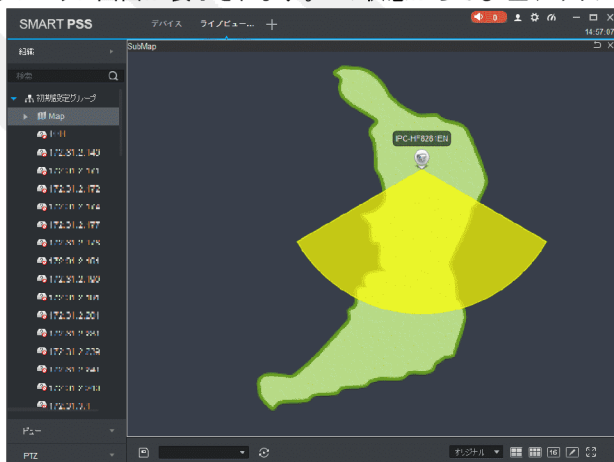
3.10.3.7. サブマップ表示①

サブマップのダブルアイコンをクリックして下さい。



3.10.3.8. サブマップ表示②

サブマップ画面が表示されます。この状態からでも「全チャンネルをオープン」「ビデオウォール」の使用は可能です。



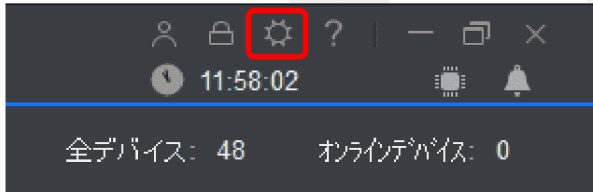
4. 設定移行

本手順は Windows 版の SmartPSS バージョン 2.001 から、バージョン 2.003 へ設定情報を移行する手順です。

4.1. バージョン 2.001 からの設定バックアップ

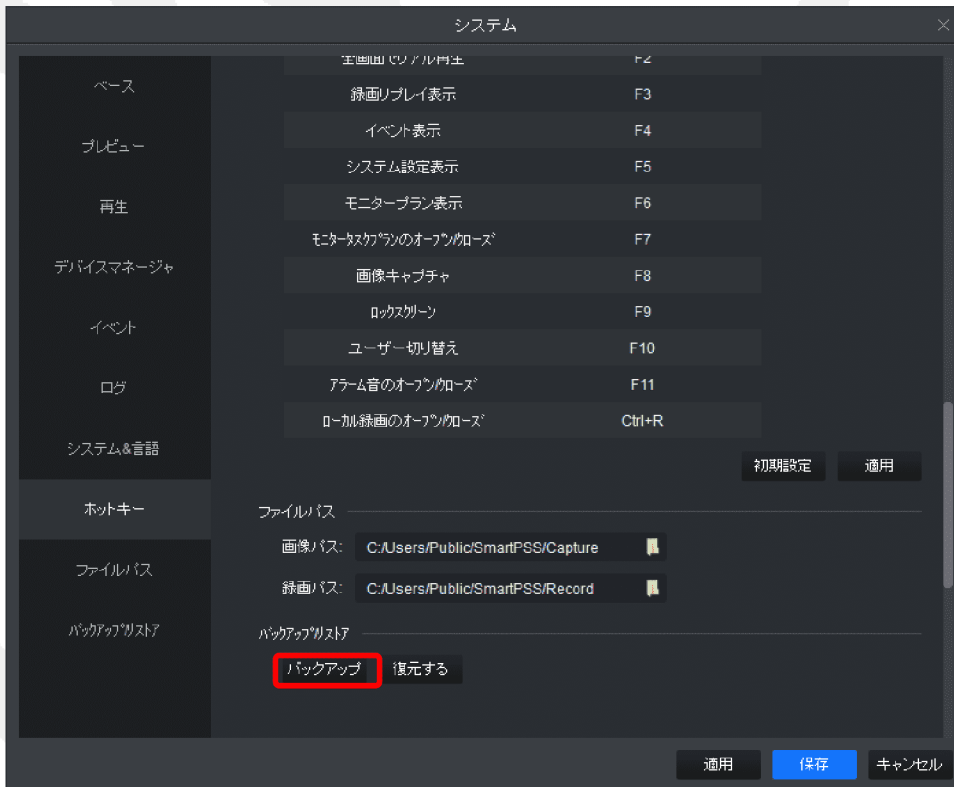
4.1.1. 2.001 の設定バックアップ①

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



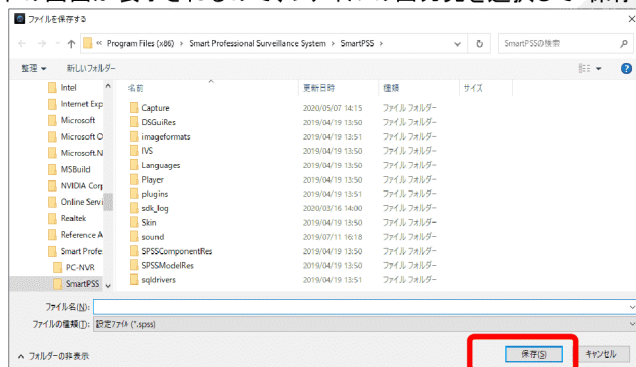
4.1.2. 2.001 の設定バックアップ②

システム画面が表示されるので、一番下まで画面をスライドします。「バックアップ」をクリックして下さい。



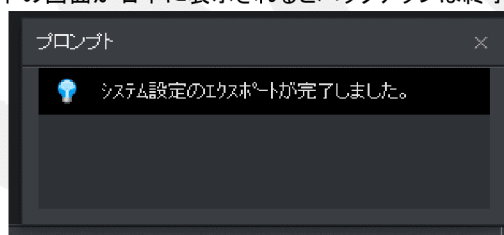
4.1.3. 2.001 の設定バックアップ③

以下の画面が表示されるので、ファイルの出力先を選択して「保存」をクリックして下さい。



4.1.4. 2.001 の設定バックアップ③

以下の画面が右下に表示されるとバックアップは終了です。



4.2. バージョン 2.001 からの設定リストア

SmartPSS バージョン 2.003 にて、設定をリストアする手順です。

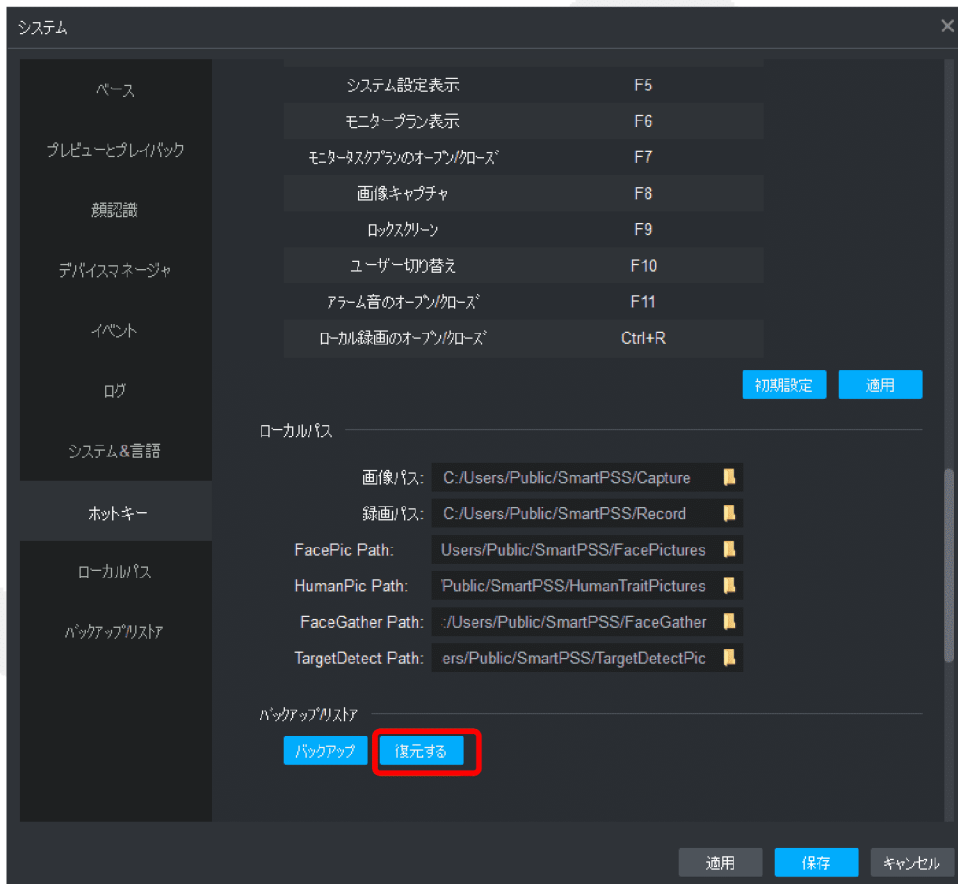
4.2.1. 2.003 の設定リストア①

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



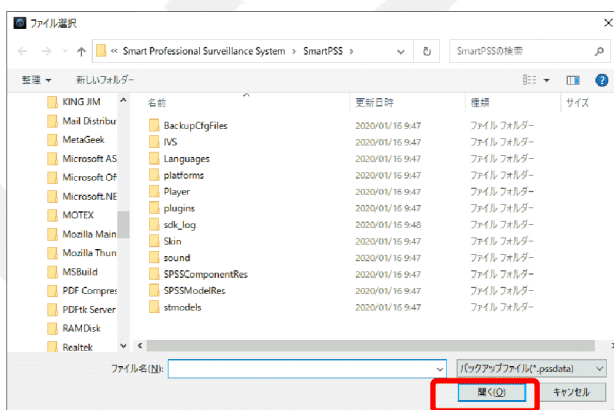
4.2.2. 2.003 の設定リストア②

システム画面が表示されるので、一番下まで画面をスライドします。「復元する」をクリックして下さい。



4.2.3. 2.003 の設定リストア③

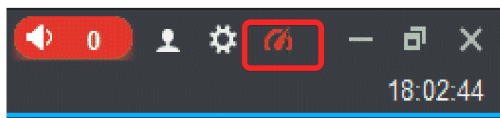
以下の画面が表示されるので、リストアするファイルを選択して「開く」をクリックして下さい。
※ファイルを読み込むと、SmartPSS が再起動します。



※拡張子「. spss」のファイル

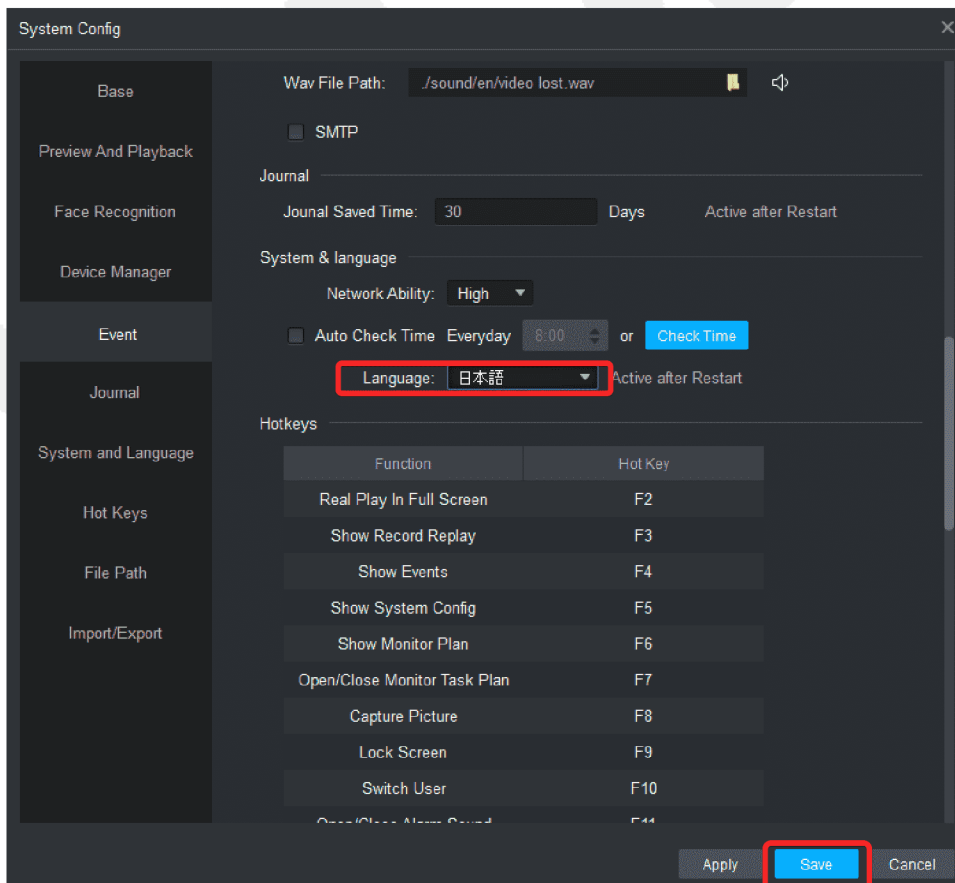
4.2.4. 2.003 の設定リストア④

SmartPSS の再起動後、英語表示されるので、右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



4.2.5. 2.003 の設定リストア⑤

Language から「日本語」を選択し、「Save」をクリックして下さい。



4.2.6. 2.003 の設定リストア⑥

SmartPSS を再起動すると日本語で表示され、設定のリストアも終了となります。

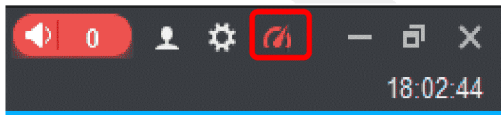
5. 便利機能

SmartPSS の便利な機能について記載します。

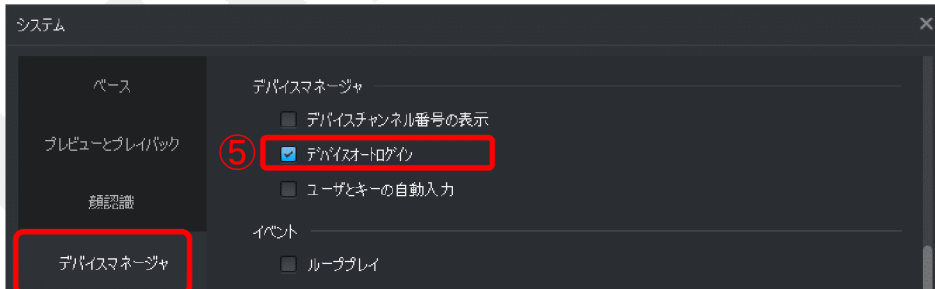
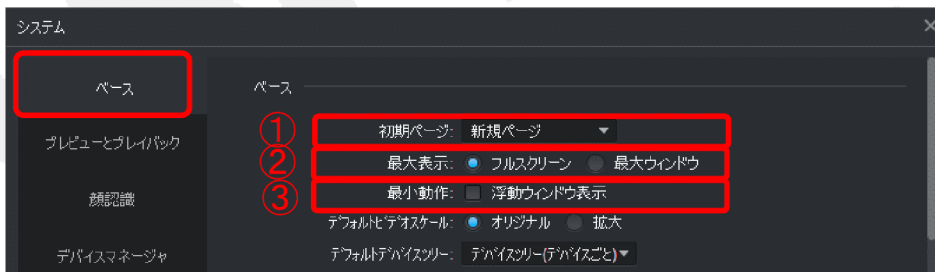
5.1. デバイス自動ログイン

5.1.1. デバイス自動ログイン

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



以下の画面が表示されます。値を設定後、「保存」をクリックして下さい。
設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要となります。



NO	項目	メニュー	機能
①	ベース	初期ページ	ソフトウェア起動後に表示するページを設定。 新規ページ、プレビュー、最後のページを復元
②		最大表示	最大表示した時の表示方法。 フルスクリーン(全画面に表示) 最大ウィンドウ(タスクバーを除いた全画面に表示)
③		最小操作	浮動ウィンドウ表示 最小化すると、デスクトップにアイコンが表示されます。
④	プレビューと プレイバック	最後のプレビューを再開	SmartPSS 起動しプレビュー画面を開くと、前回終了時のライブ映像が表示されます。
⑤	デバイスマネージャ	デバイスオートログイン	SmartPSS 起動時に、登録したデバイスに自動ログインを行います。

5.2. デバイス情報バックアップ

5.2.1. デバイス情報エクスポート

SmartPSS に登録したデバイス情報を XML ファイルにエクスポートします。

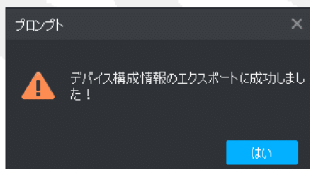
「デバイス」を開き、「バックアップ」をクリックします。グループ情報はエクスポートされないで注意願います。



格納先を指定し、バックアップします。



- ① アイコンをクリックし、ファイル名と保存先を指定して「保存」をクリックします。
- ② 「バックアップ」をクリックします。

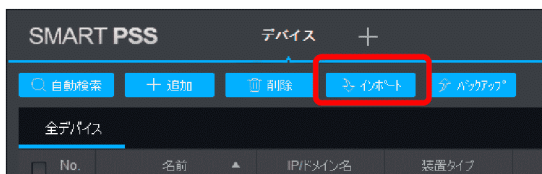


- ③ 以下の成功画面が出たら、エクスポートは終了となるので、「はい」をクリックします。

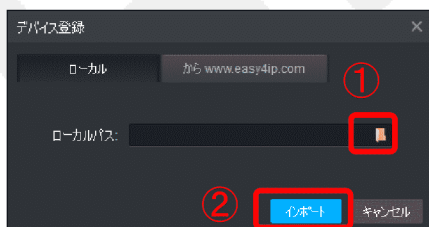
5.2.2. デバイス情報インポート

エクスポートしたデバイス情報の XML ファイルを、SmartPSS にインポートします。

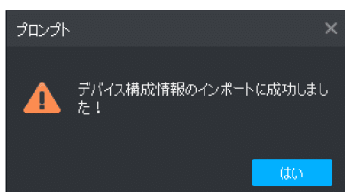
「デバイス」を開き、「インポート」をクリックします。



格納先を指定し、バックアップします。



- ① アイコンをクリックし、インポートするファイルを指定して「開く」をクリックします。
- ② 「インポート」をクリックします。



- ③ 以下の画面が出たら、インポートは終了となるので、「OK」をクリックします。

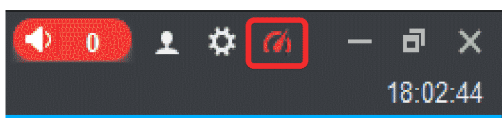
注意①: インポートした情報の反映には少し時間がかかります。

注意②: グループ設定はインポートできません(仕様)。

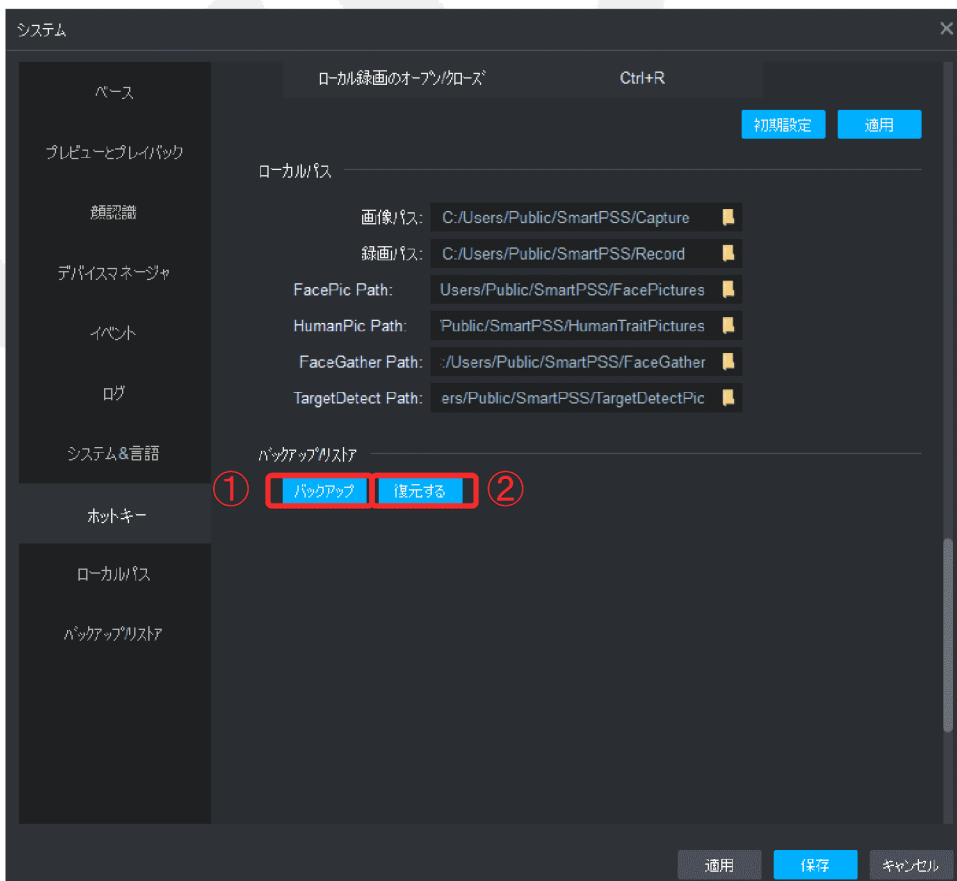
5.2.3. SmartPSS のシステムバックアップ

SmartPSS のアプリケーションの設定をバックアップできます。
この機能はデバイス情報のグループもバックアップ/リストアが可能です。

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



システム画面が表示されるので、一番下まで画面をスライドします。設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要となります。

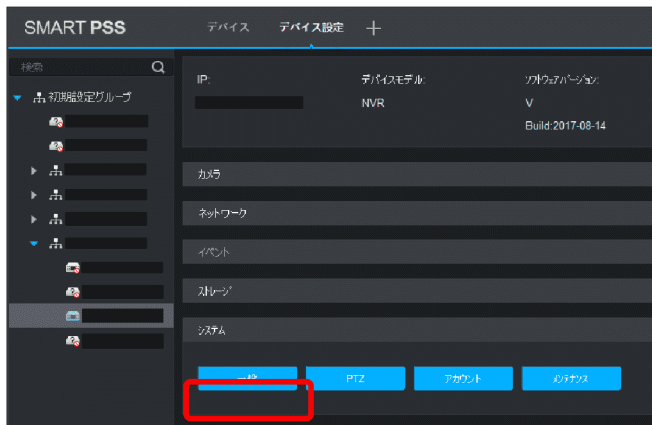


NO	項目	メニュー	機能
①	バックアップ リストア	バックアップ	ボタンをクリックすると、「. pssdata」ファイルの保存先を聞かれます。 保存先とファイル名を指定し、ファイルを保存して下さい。
②		復元する	バックアップで作成したファイルを指定します。 ファイルを読み込ませると、アプリケーションが再起動します。 再起動後、SmartPSS のログインパスワードの入力が必要となります。

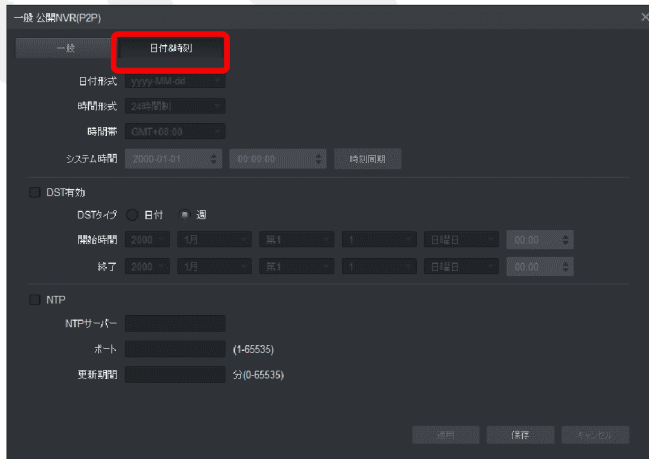
5.3. デバイスへの時刻設定

5.3.1. SmartPSS からデバイスへの時刻設定

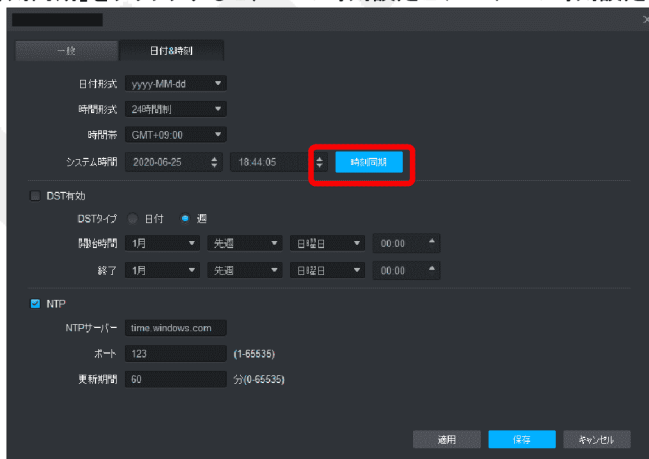
「デバイス設定」を開き、ログイン済みのデバイスを選択します。
「システム」→「一般」をクリックして下さい。



「日付&時刻」をクリックして下さい。



「時刻同期」をクリックすると、PC の時刻設定とデバイスの時刻設定が同期します。



以上